

KA82xx簡易セットアップ・メンテナンスガイド

目次

KA82xx簡易セットアップ・メンテナンスガイド

目次

【必ずお読みください】 ご注意

推奨事項

事前検証

障害発生時・故障に備えて

セットアップ時にご用意頂くもの

当マニュアル内での表現について

製品概要

箱を開けてからの、セットアップの流れ

1. KA82xxを各ケーブルでつなぐ

接続例

2. KA82xxを最新版にアップグレードする

USBメモリを用意する

最新版のファームウェアをダウンロードする

本体にUSBメモリを接続する

KA8270にログインする

メニュー画面を日本語表示にする

現在のバージョンを確認する

ファームウェアをアップグレードする

3. KA82xxのIPアドレスを変える

IPアドレス/ネットワーク設定を行う

4&5. KVMデバイスを最新にする

4. KVMデバイスのファームウェアを最新にする

5. コンピューターモジュールを最新バージョンにする

6. 解像度情報を同期するためサーバーを再起動させる

7. KA82xxからKVMデバイスにアクセス(機能不使用)

メニュー画面を呼び出す

KNxxxxVAのメニュー画面を呼び出す

KN82xxのメニュー画面を呼び出す

ログアウトする

8. KA82xxの便利機能を使って利用する(機能使用)

KA82xxの管理画面にログインする

デバイスビューとパネルレイビュー

デバイスビュー

パネルレイビュー

共通すること

デバイスビュー/パネルレイビューの登録方法

KA82xxにKVMデバイスを登録する

デバイスビューを登録する

パネルレイビューを登録する

【その他】主に使用される設定や各機能の概念

各アカウントの権限設定について

同時アクセス時の権限設定について

「バス」の概念

FAQ

ログイン画面を無効にしたい

自動的にログアウトさせたくない

KA82xx側の設定

KVMデバイス側の設定

対応するOSを知りたい

ログインできない

モニターの解像度が変更できない

再起動を繰り返すようになってしまった

既知の問題・HPE製Gen10サーバーで画面が表示できない

KVMデバイスのVGA出力とDVI-D出力を同時に使用できるか?

ポート名を日本語で入力できない

画面上にKA82xxのシリアル番号を確認する方法はあるか?

起動させたら自動的に任意のサーバーへリモートログインさせたい

ログイン画面の「直接KVMデバイスへのリモートログイン」を無効化させたい

画像が圧縮されている。画質を向上させたい

メンテナンスでファームウェアアップグレードをするが、その仕方は?

マウスカーソルが一致しない

(おことわり)仕様について

モニターのEDIDをKVMデバイス、PC/サーバーへ同期させる

サーバーに正しい映像信号を出力させる

回避できない事例

USB延長器などは使用していれば取り外す

マウスの自動同期で改善しない場合は以下の方法で改善させる

デュアルモニターで利用できない

増設時の注意点を確認したい

【必ずお読みください】 ご注意

- 当ガイドは「開梱から最低限のセットアップをして使用開始するまで」のガイドとして作成しています
- 手順の詳細を確認する場合は、製品マニュアルをご参照ください
- 弊社製のKVM製品やマニュアルは、予告なく仕様変更などが行われます
- 弊社の技術サポートの提供は最新版のファームウェアでのご利用が前提条件です。過去バージョンで発生する不具合はサポート外のためご注意ください
- 過去バージョンの機器を使用している発生している問題・障害に対してはまず最新版へのアップグレードをしてからご確認ください
 - 同様に既存のKVMスイッチに対して増設する時も必ず、KVMスイッチ並びに各機器のアップグレードを行ってください
 - **使用するKA82xxとKVMデバイスが最新バージョン同士ではない組み合わせでは、画面が表示できない、操作ができないなど予期しない不具合の原因となることがあります。そのため構築・増設する前には必ずKA82xxとKNxxxxVA両方が最新バージョンに更新されているか確認してから、構築を行ってください**
 - KNxxxxVAシリーズのバージョンアップの方法などはFAQの記事に記載があるため、[「KN8132vのセットアップのポイントを知りたい\(KNxxxxVAシリーズ\)」](#)の添付ファイルをご参照ください
- 仕様変更によって、最新のハードウェアでは過去バージョンのファームウェアに書き換えを行えが出来ない場合がございます
 - 強制的に行った場合に製品が動作しないおそれがございます。弊社では同製品内の過去互換性についてはサポート外のため、ご理解いただきますようお願い申し上げます
- ご利用から3年以上経過した製品については、仕様変更に伴い最新のファームウェアはご利用ができません。保証期間を満了した旧バージョンのハードウェアに対し、現行バージョン同等に使用するための技術サポートは提供はできません。
 - 保証期間が満了したハードウェアで相性問題などの不具合が発生した場合、使用しているバージョンに近いバージョンにアップグレードできるかお試しください。(例・v1.1.102を使用していればv1.1.103に上げてみてください)その後、アップグレードできるバージョンまで更新し、不具合が解消できるかお試しください。
 - 改善が見られなかった場合は、製品リプレースでの解決による方法をご検討いただきますようお願い申し上げます。
- 当製品をスクエアタイプのVGAモニターと接続する場合は、解像度が1280x1024対応しているモニターをご用意ください。1024x768以下しか対応していない解像度のモニターをご利用した場合、KA82xxのメニュー画面の一部などが表示できないおそれがございます
- 製品のファームウェアは製造時点では最新バージョンにて製造されていますが、物流などの都合によりさらに新しいバージョンが公開されていることがあります。利用の際は最新バージョンにアップグレードしてご利用ください
- 本製品は、全ての接続機器、ネットワーク機器の動作を保証するものではありません。ご使用の際には、事前に十分な確認評価を行っていただき、お客様の責任においてご利用頂きますようお願い致します。最終システムに対しても本機器の機能が満足するかどうかを事前に評価などにてご確認頂きますようお願い致します。

推奨事項

事前検証

- 弊社製品に実装されている各インターフェースに関しては規格に準拠した製品づくりをしていますが、そのインターフェースを持つ全てのデバイスの動作を保証するものではありません。ご使用の際には、事前に十分な確認評価を行っていただき、お客様の責任においてご利用頂きますようお願い致します。
- 各製品マニュアルごとに記載されている動作対象OSでの基本的な動作確認を実施しておりますが、各ビルド及びバージョンと、それらにて提供されるドライバの完全な動作を保証するものではありません。又お客様のご使用になるソフトウェアとの相性及び完全な動作を保証するものではありません。事前に十分な確認評価を行っていただきますようお願いいたします。
- 最終システムに対して本機器の機能が満足するかどうかを事前に評価などにてご確認頂きますようお願いいたします。
- 実機検証を行う前の段階で、弊社営業でも構成相談を承ることができます。
詳細につきましては、弊社お問い合わせフォームをご利用の上、弊社営業までお気軽にお問合せください。
<https://atenjapan.satori.site/contactus>
- 営業までご相談をいただく場合に具体的な構成図などをご提示いただくことで、より早い構成提案なども可能になります。
お急ぎの場合は、弊社営業窓口 03-5615-5810 までご連絡ください。
 - 受付時間：午前9時～午後6時(土・日・祝日・お盆・正月期間を除く)

障害発生時・故障に備えて

- メーカー保証(3年)はセンドバック保守となります
 - 修理の受付には製品のシリアル番号が必須となります。本体底面、シール部分にバーコード下の英数字がシリアル番号となります
 - シリアル番号から保証期間内の判定と、有償オプションに加入しているかの照合をします
 - 本体底面に養生用シールなどが貼られて見えない、シールが剥がされている、汚損などによってシリアル番号をご提示頂けないなどの場合は、有償での修理対応となります
 - 保証期間内は無償修理となりますが、修理品の送料につきましては相互元払いとなります
- 障害の切り分けや早期対応(代替機の先出しを希望)が必要なお客様向けに、弊社では製品購入時のみにご契約いただける有償オプションプラン「先出保守センドバックサービス」を提供しております
- 併せて、最大5年までの保証期間の延長プランもございます
- <https://www.aten.com/jp/ja/supportcenter/product-warranty-s/>
- ご加入内容によって保守サービスの価格が変わるため、詳細については弊社営業までお問い合わせください
 - ご契約を頂いた製品保守発生時、弊社技術サポート(03-5615-5811または弊社技術サポートサイト「esupport」へご依頼ください。電話対応による障害切り分けを行い、保守対象機器が故障と判断された場合には、交換部材(又は代替機)を先に指定頂いたお送り先へ発送

するサービスとなります。故障した部品(機器)はお客様による交換作業実施後、弊社に発送していただきます。

- 誠に恐れ入りますが弊社では、弊社によるオンサイトの保守交換サービスは提供していないため、ご対応が出来かねることをご容赦頂きますようお願い申し上げます

セットアップ時にご用意頂くもの

- KA82xxのファームウェアをアップグレードには、以下の機器をご用意ください
 - FAT32形式でフォーマットされた2GB以上のUSBメモリまたはUSB外付けストレージ
- KVMデバイスのアップグレードを行うため、WindowsPCをご用意ください
 - Windows8以降、Windows10を推奨

当マニュアル内での表現について

- そして、以下の製品はまとめて「KA82xx」または「コンソールモジュール」と表現します
 - KA8270
 - KA8278
 - KA8280
 - KA8288
- 以下のKA82xxに対応するモデルをまとめて「KVMデバイス」と表現します。また、KNから始まる対応型番は「KNxxxxVA」と表現します
 - KN1108VA
 - KN1116VA
 - KN1132V
 - KN2116VA
 - KN4116VA
 - KN2124VA
 - KN4124VA
 - KN2132VA
 - KN4132VA
 - KN8132V
 - KN2140VA
 - KN4140VA
 - KN4164V
 - KN8164V
 - KL1108VN
 - KL1116VN
 - CN9600
 - CN8000A
- 以下の製品はまとめて「コンピューターモジュール」と表現しています
 - KA7120
 - KA7130
 - KA7140
 - KA7166
 - KA7168
 - KA7169
 - KA7170
 - KA7175
 - KA7176
 - KA7177
 - KA7178
 - KA7188
 - KA7189
- KA82xxに接続するVGA/HDMIモニター、キーボード、マウス(弊社製ドロワーを含む)は「コンソールデバイス」と表現します

製品概要

- 弊社製、KVMデバイス製品専用のリモート端末です
 - これらの製品は、リモートからKVMにアクセスするための機器です。製品単体で他社製KVMやWindowsリモートデスクトップなどに接続してご利用いただけません
 - 専用デバイスのため、PCの継続的なOSアップデートやそれによる再起動、WindowsOSなどを対象にしたマルウェアなど脆弱性攻撃を回避できるメリットがあります
- KA82xxをご利用いただくには、対応するKVMデバイスが必要です
 - windowsリモートデスクトップ、VNCビューワなどに接続してご利用いただけません
- **ご利用の際は、最初にKVMデバイス、コンピューターモジュールのファームウェアを最新バージョンまでアップグレードをする必要があります**
- 対応KVMデバイス、コンピューターモジュールを組み合わせることでバーチャルメディア機能※をご利用いただけます
- KVMデバイスのファームウェアアップグレードが可能です
- KVM製品とは独立して独自にアカウント作成やデバイスのアクセス制限を設けることができます
 - 例えば「AのKVMデバイスでは管理者アカウント、BのKVMデバイスでは一般ユーザー」のようなKVMデバイスごとに異なる権限も、KA82xx内のアカウントに設定することで、何度もログインし直す手間を省略できます
- ※バーチャルメディア機能 : KA82xxにUSBメモリや光学ドライブを接続して、接続先のリモートPCにアクセスしてログデータの取得やOSインストールなどの用途としてご利用いただけます。

箱を開けてからの、セットアップの流れ

- 以下の流れでセットアップをしてご利用ください
 1. KA82xxに各ケーブルを接続する
 2. ネットワークをつなぐ前にKA82xxのファームウェアを最新にする
 3. KA82xxのIPアドレスを変える
 4. PCからアクセスしてKVMデバイスのファームウェアを最新にする
 5. KVMデバイスに繋がっているコンピューターモジュールのファームウェアを最新にする
 6. KVMデバイスに接続しているサーバーを再起動させる
 7. KA82xxとKVMデバイスをネットワークで接続する
 8. (オプション)KA82xxを便利に使える各機能を設定する

1. KA82xxを各ケーブルでつなぐ

- LANケーブル以外をKA82xxに接続します
 - 「モニターケーブル、キーボード、マウス、ACアダプター」をKA82XXに接続してください
 - KA82xxとKVMデバイスの設定が終わってからLANケーブルをつないでください
 - この段階でLANケーブルをつなぐと環境によってネットワーク障害の原因になるおそれがありますためご注意ください
- VGAまたはHDMIケーブル
 - KA8278 / KA8288はデュアルモニター製品で片方のモニターだけにメニュー画面が表示されます
 - KA8278に1台のモニターだけ接続する時はVGA出力側のみを接続してください(表示設定変更不可)



- KA8288に1台のモニターだけ接続する時はどちらに接続してもご利用いただけます
 - KA8288に2台のモニターを使用する場合は**右側のHDMI出力側のみメニューが表示されます(表示設定変更不可)**



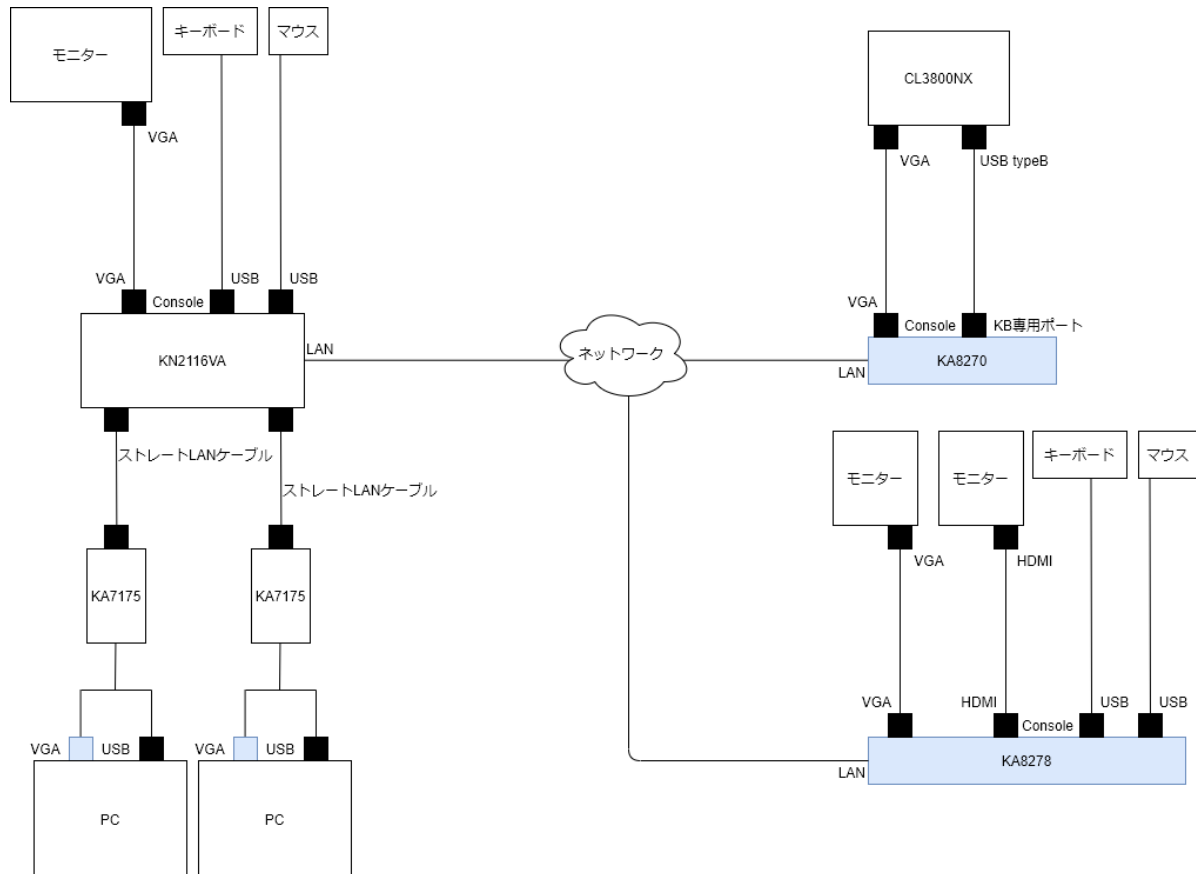
- USBキーボードとマウス
 - 下の図のようにアイコンが描かれているポートにそれぞれ接続してください
 - CL3800NXなど弊社製ドロワーを接続する場合はキーボードが描かれているポートに接続してください



- 接続が完了したら、KA8270のACアダプターを接続して電源ONにします

接続例

- 以下は、KVMスイッチと組み合わせた例です
- キーボードとマウスはKA82xx本体正面にあるキーボード、マウス専用USBポートに接続してください
- CL3800NXなど弊社製ドロワーと接続する場合、USBケーブルはKA82xxのキーボード用ポートに接続してください
 - ドロワーとVGAで接続するケーブルが同梱されていない場合は[2L-5003U](#)などドロワーに対応するケーブルを別途用意ください



2. KA82xxを最新版にアップグレードする

- ここからKA8270を例に使用してアップデート方法を紹介します

USBメモリを用意する

- KN82xx本体のファームウェアアップグレードをする場合はFAT32形式でフォーマットされた2GB以上のUSBメモリまたはUSB外付けストレージをご用意ください
- KA82xxは、KVMデバイスやPCのリモート端末からの遠隔アップグレードに対応していません

最新版のファームウェアをダウンロードする

- KA82xxのファームウェア最新バージョンは製品ページの「サポートとダウンロード」にてご確認ください
- ファームウェアアップグレード用のアプリケーションを弊社の製品ページから最新バージョンをダウンロードします
- 製品ページの「サポートとダウンロード」から最新版のファームウェアをダウンロードしてください
(※以下は2020年6月23日時点のスクリーンショットです)
- <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KA8270>
 - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KA8278>
 - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KA8280>
 - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KA8288>

- 各製品ページの赤枠にある「サポートとダウンロード」をクリックするとファームウェアをダウンロードできます
- ファームウェアは会員登録不要でダウンロードが可能です

KVM > KVMモジュールとアクセサリ > KA8270

型番 / 製品名 検索 比較する (0)

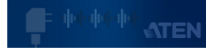
KVM over IP コンソールステーション

KA8270



- PCまたはラップトップの代わりに独立型コンソール。ユーザーはATEN製KVM over IPスイッチに遠隔からアクセスし制御が可能*
- ウイルスの脅威に対するセキュリティ対策およびデータ保護
- シングルサインオン・複数のATEN製KVM over IPスイッチの管理・統合
- 高精細なFPGAグラフィックプロセッサ - 1920x1200 フルHD対応

電源アダプター対応表



追加して比較する



お問い合わせ

概要 特長 構成図 仕様 **サポートとダウンロード**

データシート

ka8270_ka8278_ka8280_ka8288_ver02j.pdf (1.16 MB)

マニュアル

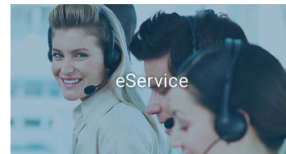
KA8270_KA8278_KA8280_KA8288_Japanese_20180824.pdf (2.39 MB)

クイックスタートガイド

ka8270_8278_8280_8288_kvm_module_qsg.pdf (1.77 MB)

CAD描画

KA8270-ASM-V01_WEB.pdf (45.45 KB)



お問い合わせ、技術サポートはATEN eServiceまで

お問い合わせ

- 製品登録
- 印刷用ページ
- 製品に関する表明
- FAQ

ファームウェア

説明	バージョン	リリース日	ファイル名
Firmware Upgrade	v1.1.102	2020-02-20	KNConsole_v1.1.102.release.20191224.zip
Firmware Upgrade	v1.0.076	2020-01-09	KNConsole_v1.0.076.release.20191211.zip
Firmware Upgrade	v1.0.071	2019-07-22	KNConsole_v1.0.071.release.20190709.zip
Firmware Upgrade	v1.0.068	2019-05-07	knConsole_v1.0.068.release.20190404.zip
Firmware Upgrade	v1.0.065	2018-09-17	knConsole_v1.0.065.release.20180626.zip

- ファームウェアの項目にある最新版v1.1.02のファイル名をクリックしてPCに保存します(2020年8月31日時点)
- ダウンロードしたzipファイルを解凍し、csf形式のデータを用意したUSBメモリまたは外付けストレージにコピーしてください

ファームウェア▼

説明	バージョン	リリース日	ファイル名
Firmware Upgrade	v1.1.102	2020-02-20	KNConsole_v1.1.102.release.20191224.zip
Firmware Upgrade	v1.0.076	2020-01-09	KNConsole_v1.0.076.release.20191211.zip
Firmware Upgrade	v1.0.071	2019-07-22	KNConsole_v1.0.071.release.20190709.zip

本体にUSBメモリを接続する

- データコピーしたUSBメモリまたは外付けストレージをKA8270本体のフロント部の赤線で囲まれたUSBポートに接続してください(上下どちらでも問題ありません)

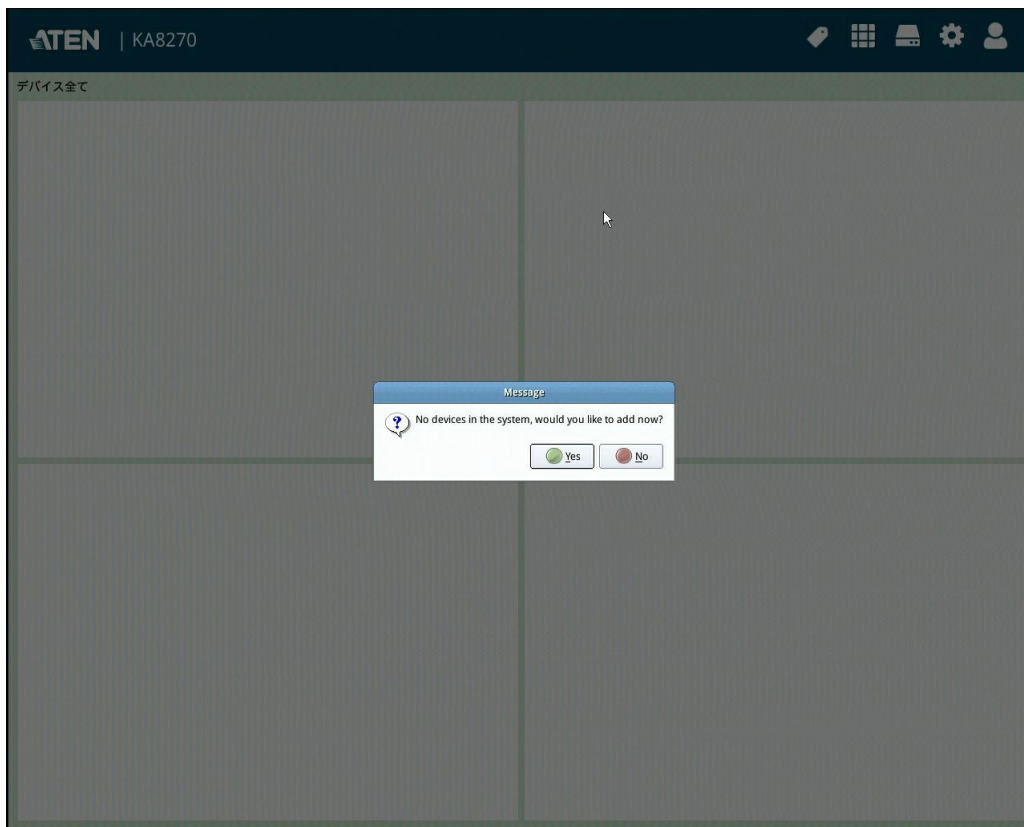


KA8270にログインする

- ログインして、ファームウェアアップグレードをします
 - ログイン画面で「Console Station」を選択してください

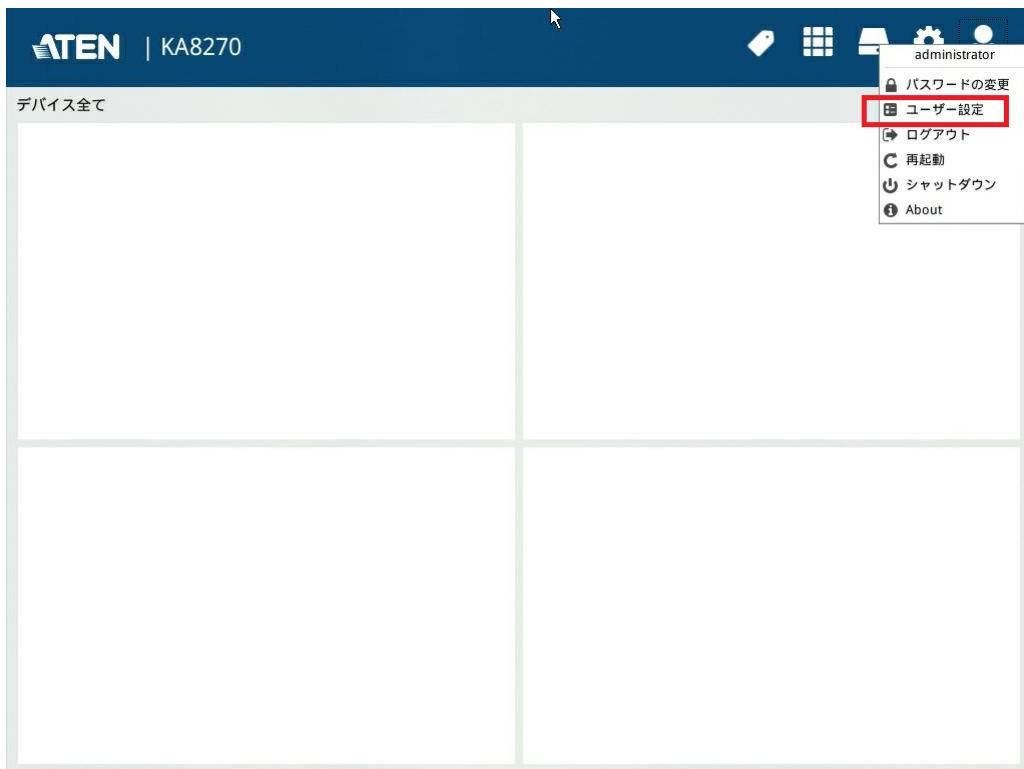
The screenshot shows the ATEN KA8270 login interface. At the top left, the ATEN logo and 'KA8270' are displayed. The main area contains a dropdown menu set to 'Console Station', followed by 'User Name' and 'Password' input fields. Below these fields are 'Login' and 'Reset' buttons. The word 'English' is visible in the bottom right corner.

- KA82xxの初期ログインパスワードは以下の通りです
 - username: administrator
 - パスワード: password
- 「Login」ボタンを押してメニュー画面に進みます
- 初回起動時にKVMデバイスと接続していないため登録するか?という確認メッセージが表示されますが、この時点では「No」をクリックしてキャンセルします



メニュー画面を日本語表示にする

メニュー画面の右端にあるアイコンをクリックして、「ユーザー設定(User Preference)」をクリックします

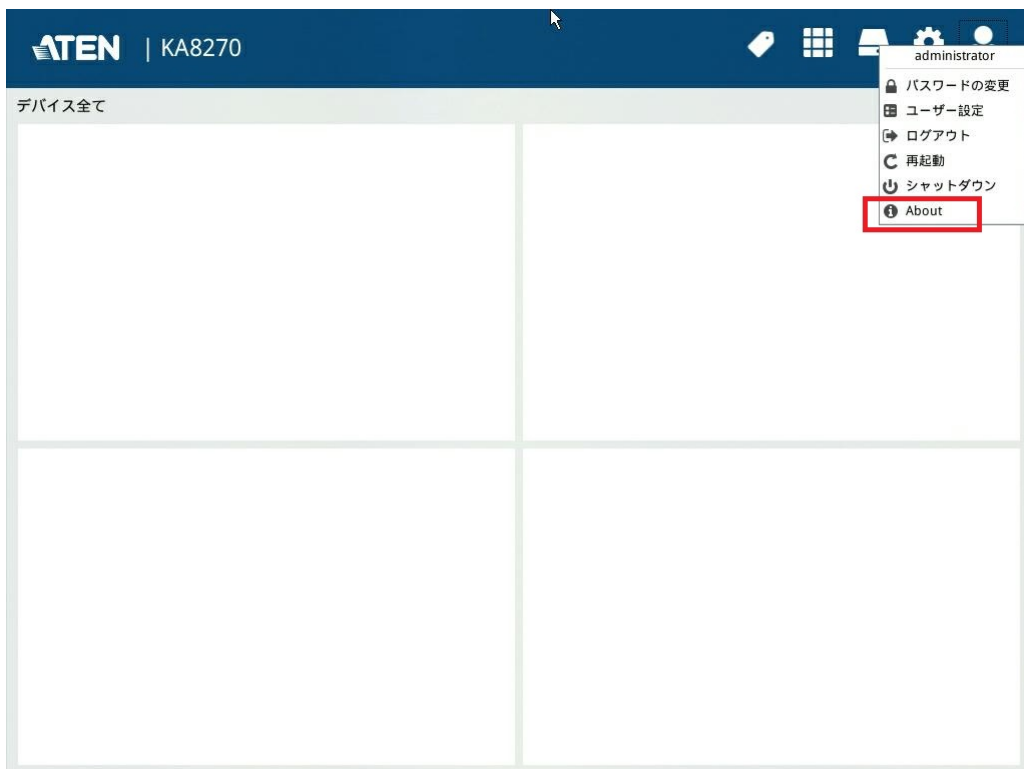


- 「言語」で日本語に設定をして、保存ボタンを押します
 - 自動的にタイムアウトをさせたくない場合はログアウトタイムアウトを「0分」に設定してください

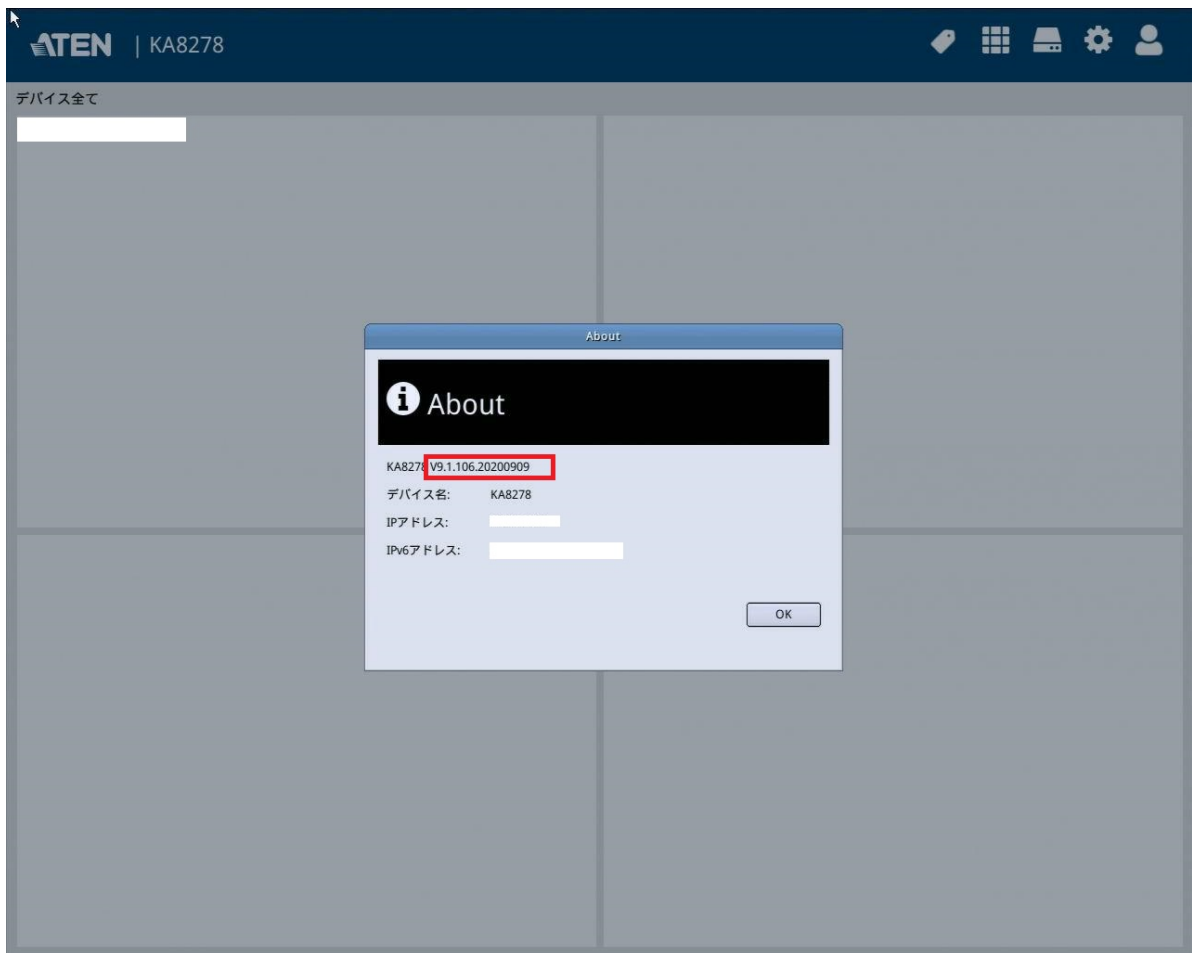


現在のバージョンを確認する

- メニュー画面の右端にあるアイコンをクリックして、「About」をクリックします



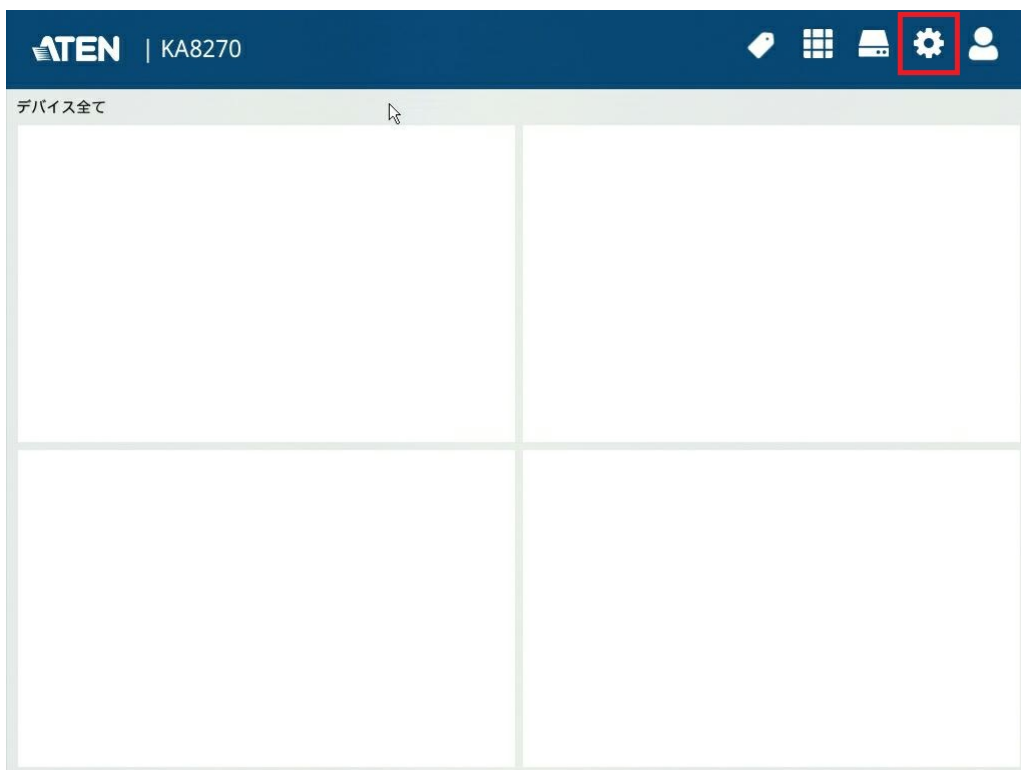
- 以下の画面のようにバージョンが確認できます。ダウンロードしたファームウェアと同じバージョンであれば、以下のアップグレード作業は割愛できます
 - バージョンの数字は凡例となります。お手元の機器のバージョンの数値を保証をするものではありません。



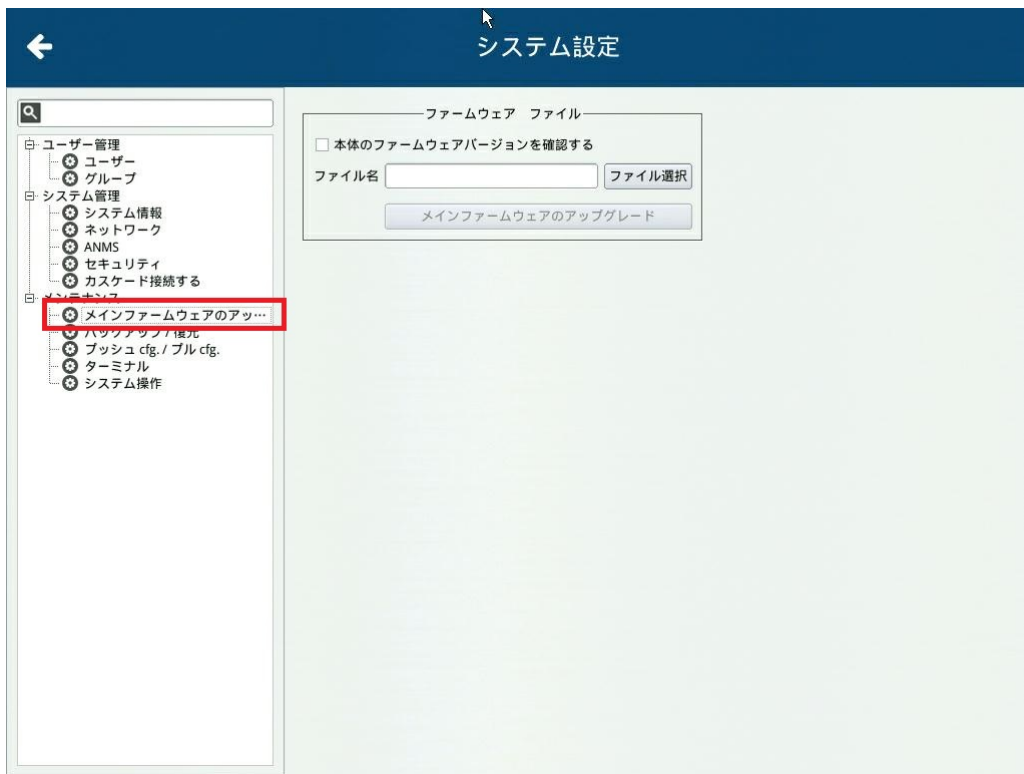
- OKを押して画面表示を閉じてください

ファームウェアをアップグレードする

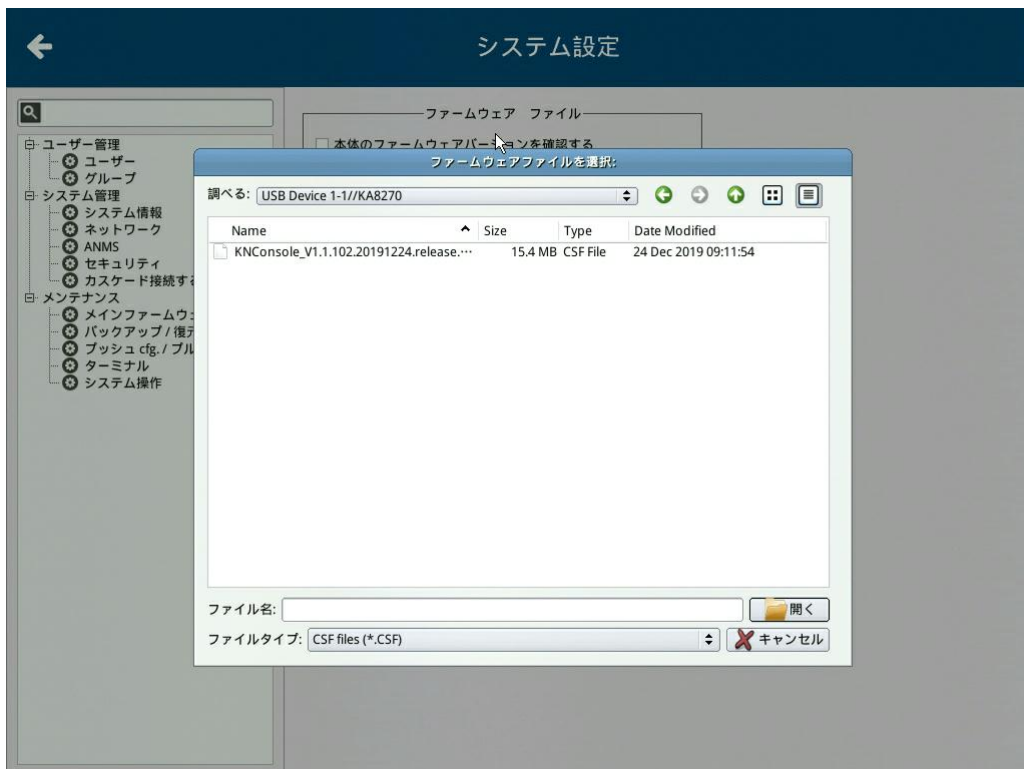
- 画面右上にある歯車のアイコンをクリックしてください



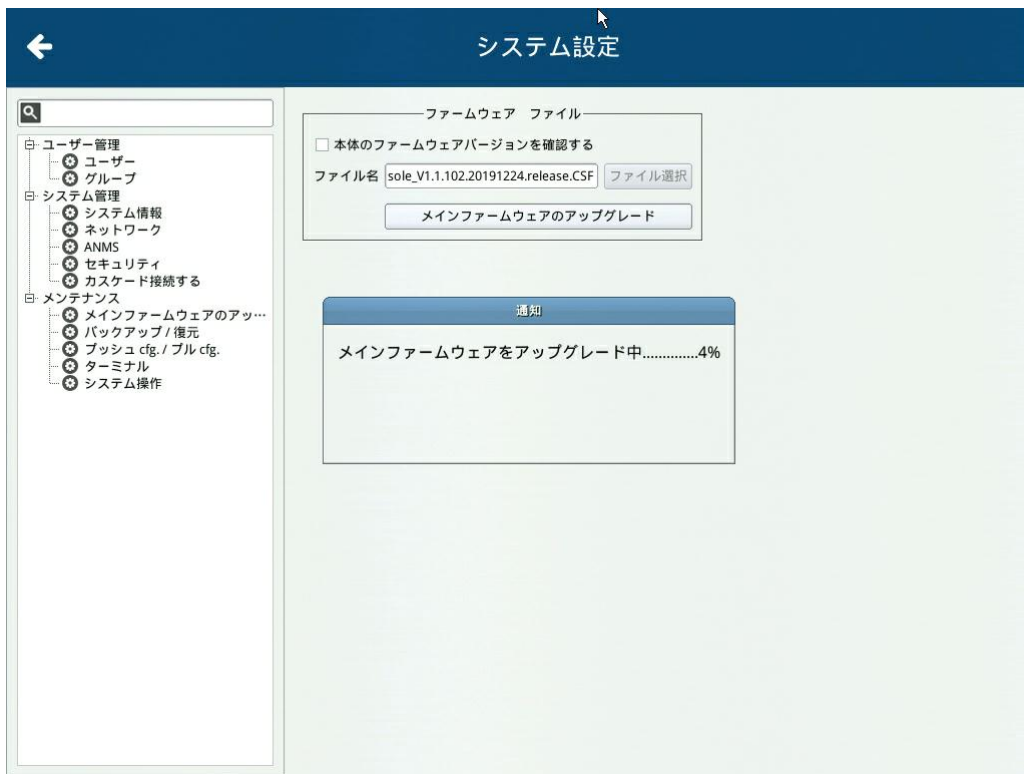
- 左ペインにある「メンテナンス>メインファームウェアのアップグレード」をクリックします



- ファイル選択からUSBメモリまたは外付けストレージに保存されているcsfファイルを選択します
 - 「本体のファームウェアバージョンを確認する」のチェックが外した場合は、同じファームウェアのバージョンの上書きや緊急時におけるアップグレード前のバージョンへ書き戻す用途としてご利用いただけます



- 選択後、「メインファームウェアのアップグレード」ボタンを押すとアップグレードを開始します

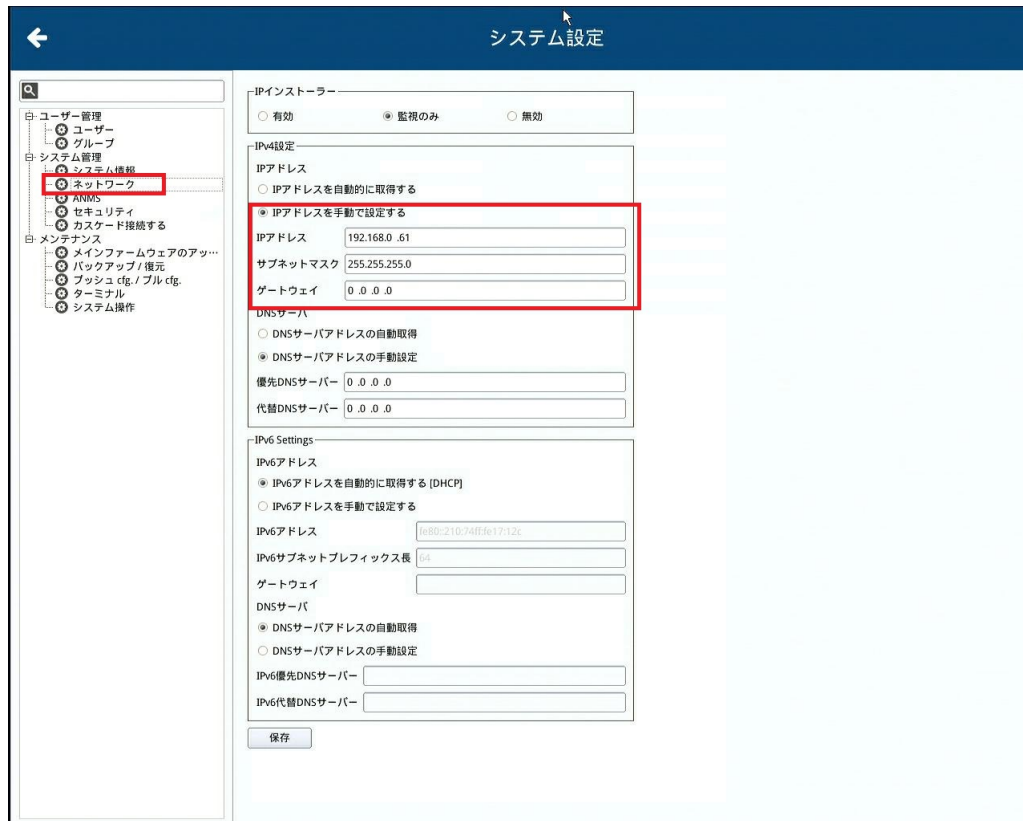


- ファームウェアがアップグレードが完了すると自動的に再起動します。再起動後、ログイン画面が表示されたらアップグレードは完了です

3. KA82xxのIPアドレスを変える

IPアドレス/ネットワーク設定を行う

- KA82xxを最新バージョンにアップグレードできたらKVMデバイスと接続するために、IPアドレスの設定を行います
- 「Console Station」にログイン後、画面右上にある歯車のアイコンをクリックして「システム管理>ネットワーク」をクリックしてください



- KA82xxのIPアドレスは工場出荷設定で以下の通りです。
 - ■ IPアドレス:192.168.0.60
 - ■ サブネットマスク:255.255.255.0
- 接続するKVMデバイスは工場出荷設定では同じIPアドレス「192.168.0.60」です。ネットワークの通信衝突を避けるため必ず変更してください
- また複数のKA82xxを使用する場合はアドレスが重複しないよう、各ユニットごとに異なるIPアドレスへ変更してください
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを任意のアドレスに変更したら保存ボタンを押してください
- そして、左上の左矢印をクリックすると、「リセットします。」という再起動の確認メッセージが表示されるため、「Yes」をクリックしてください
- クリックするとIPアドレスの設定を反映させるために本体再起動をします。再起動後、ログイン画面が表示されたらIPアドレスの設定が完了です

4&5. KVMデバイスを最新にする

- KVMデバイスが最新バージョンではない場合、KA82xxからアクセスできない可能性があります
- ここでは、KA82xxからアクセスが出来ない前提でのアップグレード方法を記載しています

4. KVMデバイスのファームウェアを最新にする

- PCとKVMデバイスをLANで接続して、バージョンが最新かを確認してください
- KVMデバイスのファームウェア最新バージョンは各製品ページの「サポートとダウンロード」にてご確認ください
 - (製品例)
 - <https://www.aten.com/jp/ja/products/modelno/KN2116VA>
 - 上記製品以外は検索フォームから型番を入力し、各ページに移動してから「サポートダウンロード」にてご確認ください

ホーム 導入事例 製品 資料ダウンロード サポート

KVM > IP KVMスイッチ > KN2116VA

型番 / 製品名 検索 比較する (0) 種

1ローカル/2リモート アクセス 16ポート カテゴリ5e IP-KVMスイッチ (バーチャルメディア対応、1920 x1200)

KN2116VA

- バーチャルメディア転送速度が従来機種に比べて2倍の速さに (読込20Mbps、書込30Mbps)
- リモート2ユーザー/ローカル1ユーザー-16ポートIP-KVMスイッチ(1Uサイズ)
- キーボード・マウスブロードキャスト機能・キーボード・マウスの入力は製品配下にある全サーバーで複製が可能

追加して比較する

3年保証 RoHS 最大5年保証

お問い合わせ

概要 特長 構成図 仕様 関連資料 **サポートとダウンロード**

- KNxxxxVA系の場合
 - 右上の「？」アイコンをクリックしてください
 - 以下の画面のようにバージョンが確認できます。バージョンが最新の場合は以下のアップグレード作業は割愛できます
 - バージョンの数字は凡例となります。お手元の機器のバージョンの数値を保証するものではございません。

774 (内) 編集 (E) 表示 (V) 右側に (A) ツール (T) ヘルプ (H)

Port Access User Management Device Management Log Maintenance Download

通信 | 履歴 | お気に入り | ユーザー設定 | セッション | アクセス | ポート設定

目録 KN2116VA

- [01] Win10
- [02] SNMP for PE8108A
- [03]
- [04]
- [05]
- [06]
- [07]
- [08] test server
- [09]
- [10]
- [11]
- [12]
- [13]
- [14]
- [15]
- [16]
- BladeServer

ポート番号	ポート名	デバイス名	ステータス
01	Win10	KN2116VA	Offline
02	SNMP for PE8108A	KN2116VA	Offline
03		KN2116VA	Offline
04		KN2116VA	Offline
05		KN2116VA	Offline
06		KN2116VA	Offline
07		KN2116VA	Offline
08	test server	KN2116VA	Offline
09		KN2116VA	Offline
10		KN2116VA	Offline
11		KN2116VA	Offline
12		KN2116VA	Offline
13		KN2116VA	Offline
14		KN2116VA	Offline
15		KN2116VA	Offline
16		KN2116VA	Offline

接続

アレイモード フィルター

774 (内) 編集 (E) 表示 (V) 右側に (A) ツール (T) ヘルプ (H)

Port Access User Management Device Management Log Maintenance Download

通信 | 履歴 | お気に入り | ユーザー設定 | セッション | アクセス | ポート設定

目録 KN2116VA

- [01] Win10
- [02] SNMP for PE8108A
- [03]
- [04]
- [05]
- [06]
- [07]
- [08] test server
- [09]
- [10]
- [11]
- [12]
- [13]
- [14]
- [15]
- [16]
- BladeServer

ポート番号	ポート名	デバイス名	ステータス
01	Win10	KN2116VA	Offline
02	SNMP for PE8108A	KN2116VA	Offline
03		KN2116VA	Offline
04		KN2116VA	Offline
05		KN2116VA	Offline
06		KN2116VA	Offline
07		KN2116VA	Offline
08		KN2116VA	Offline
09		KN2116VA	Offline
10		KN2116VA	Offline
11		KN2116VA	Offline
12		KN2116VA	Offline
13		KN2116VA	Offline
14		KN2116VA	Offline
15		KN2116VA	Offline
16		KN2116VA	Offline

About

KN2116VA Version 2.8.272

ATEN International Co., Ltd. All rights reserved.

オンラインへ... OK

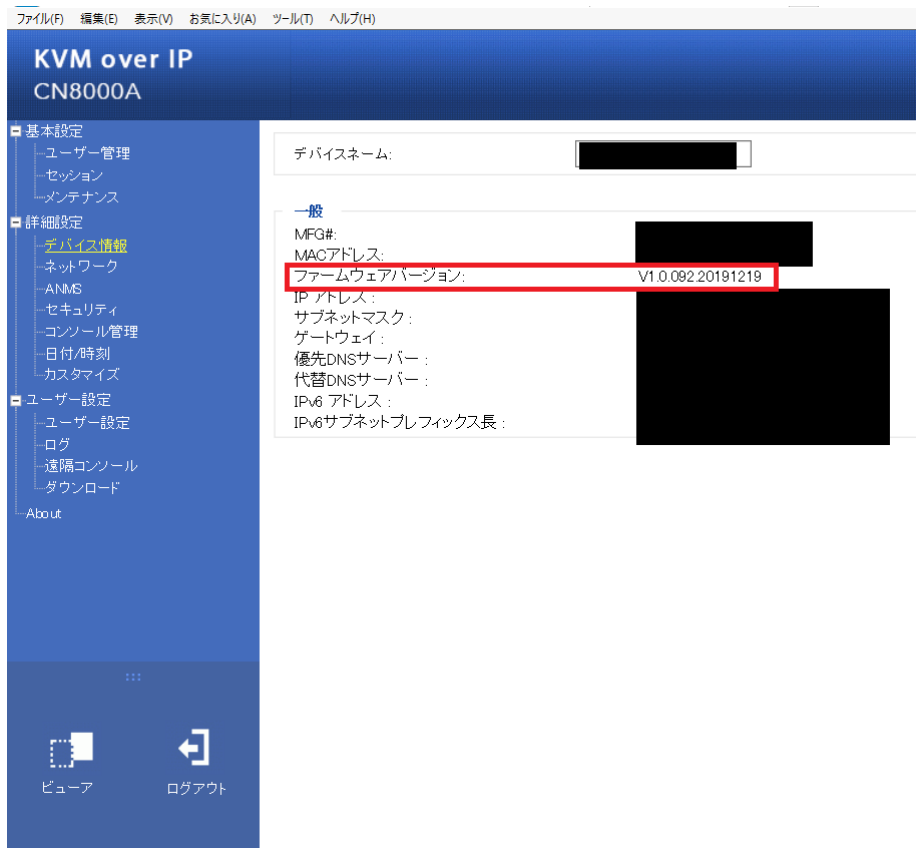
接続

アレイモード フィルター

ATEN International Co., Ltd. All rights reserved.

- CNxxxx系の場合

- トップ画面または「詳細設定>デバイス情報」からファームウェアバージョンをご確認ください



- この資料ではKVMデバイスのアップグレード方法詳細の手順は割愛します
- 詳細の手順は製品マニュアルまたは、次のFAQの記事に添付されているセットアップガイドをご参照ください
 - KNxxxxVA : [「KN8132vのセットアップのポイントを知りたい\(KNxxxxVAシリーズ\)」](#)
 - CN8000A : [セットアップのポイントを知りたい\(CN8000A\)](#)
 - その他の製品については製品マニュアルをご参照ください

5. コンピューターモジュールを最新バージョンにする

- この実施項目はKNxxxxVA、KLシリーズが対象です
- 上記セットアップガイドまたは製品マニュアルに記載されているため、この項目も併せて行ってください。

6. 解像度情報を同期するためサーバーを再起動させる

- 設定した解像度情報を同期するため、KVMデバイスに接続しているサーバー/PCの再起動を行ってください
- この順番を守らず、再起動をしないでそのまま使用したり、ブレーカーやUPSなどの電源一斉に立ち上げた場合、以下の一時的な不具合が起こるおそれがあります
 - KA82xxがKVMデバイスにアクセスできない
 - サーバーがKVM経由でモニターの解像度情報を取得できず、サーバーの画面解像度の変更できなかつたり映像が表示できない
 - 画面のアスペクト比が正しくない表示になる、画面の表示ずれが起きる
 - 解像度が正しく認識されているのにマウスカーソルがずれた表示になる、一致しない
- サーバーのシャットダウンをしたら、KVMデバイスの設定を次の順番で設定保存をして、KVMデバイスの電源を落としてください

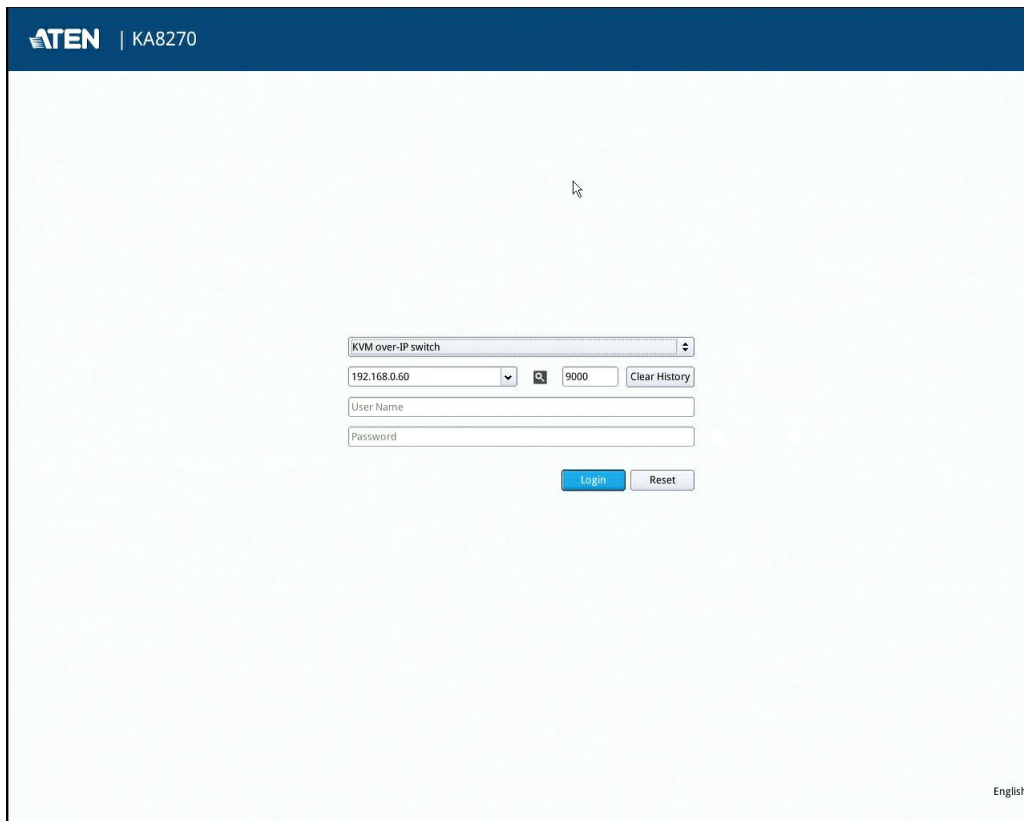
1. 「Maintenance > システム操作」で「終了時にリセット」にチェックを入れる
2. 適用ボタンを押す
3. 画面右上のログアウトボタンを押す
4. 「今すぐリセットしますか？」でOKを押す
5. 本体が再起動をしたらログインして、今まで行った設定がすべて反映されているかを確認する
6. 問題がなければ、KVMデバイスの電源をオフにする

KVMデバイスをはじめ、以下の機器すべての電源がオフになっているのを確認してから下の順番で電源を投入してください

1. KVMデバイスに接続しているモニター
 2. KVMデバイス本体
 3. KVMデバイスに接続しているサーバーやPC
 4. KA82xx本体
- 1-3までの起動が完了してからは、KA82xxは電源on/offをしても問題ありません
 - これでKA82xxと接続するKVMデバイスの基本的なセットアップは完了です

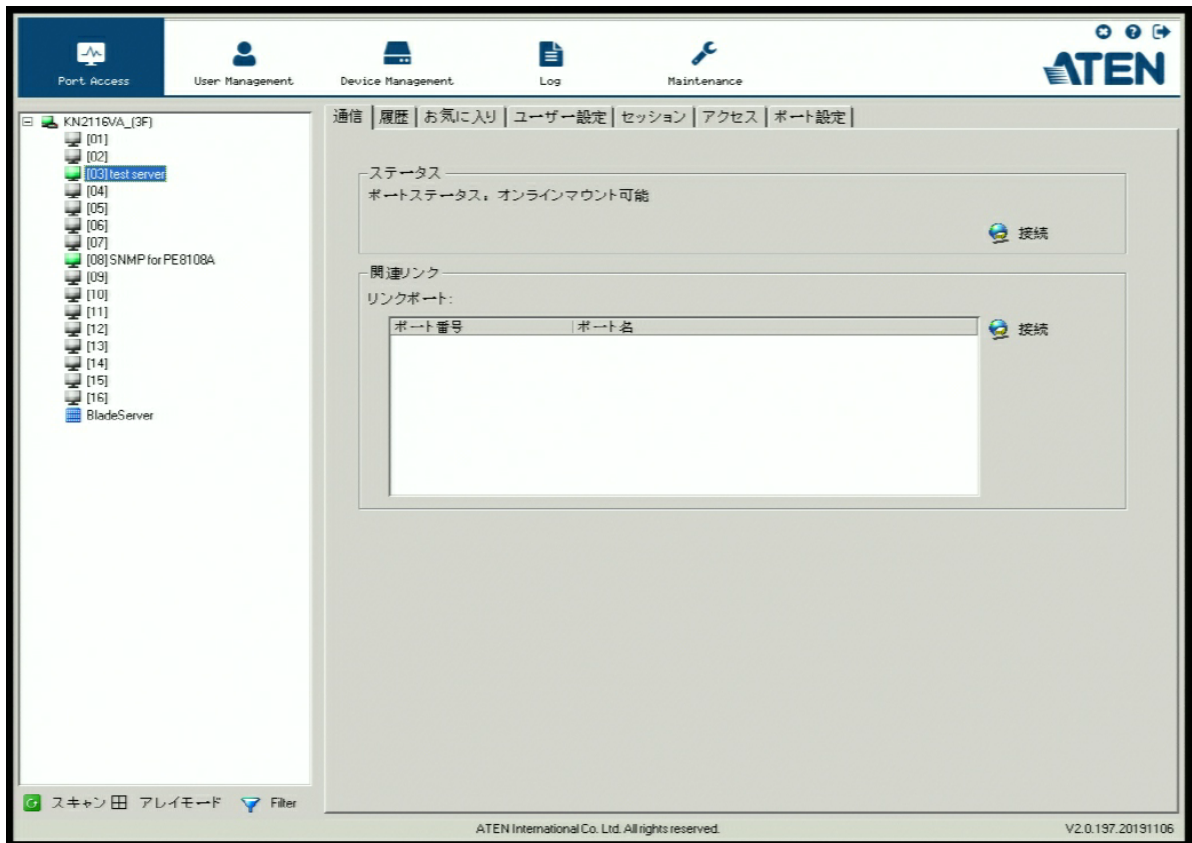
7. KA82xxからKVMデバイスにアクセス(機能不使用)

- この方法はKA82xxの機能は使わずに、KVMデバイスにログインできるか確認をします
- 通常方法であれば次項「[8. KA82xxの便利機能を使って利用する\(機能使用\)](#)」をご確認ください
- KA82xxの背面のLANポートにLANケーブルを接続して、KVMデバイスとネットワーク接続をしてください
 - KA82xx本体正面のCasecadeポートはカスケードモードを使用する場合のみに使うため、通常利用では接続不要です
- この後にログイン画面にてプルダウンメニューから「**KVM over-IP switch**」を選択し、KVM本体のIPアドレス、user name、パスワードを入力すると直接KVMのリモートコンソールにアクセスが出来ます



The screenshot shows the ATEN KA8270 web interface. At the top left, the ATEN logo and 'KA8270' are displayed. The main content area is a light blue background with a central login form. The form includes a dropdown menu currently set to 'KVM over-IP switch'. Below this are input fields for '192.168.0.60' (with a search icon), '9000', and 'Clear History'. There are also fields for 'User Name' and 'Password'. At the bottom of the form are 'Login' and 'Reset' buttons. In the bottom right corner, the word 'English' is visible.

- ログイン直後は次のように、KNxxxxVAであればメニュー画面が表示されます



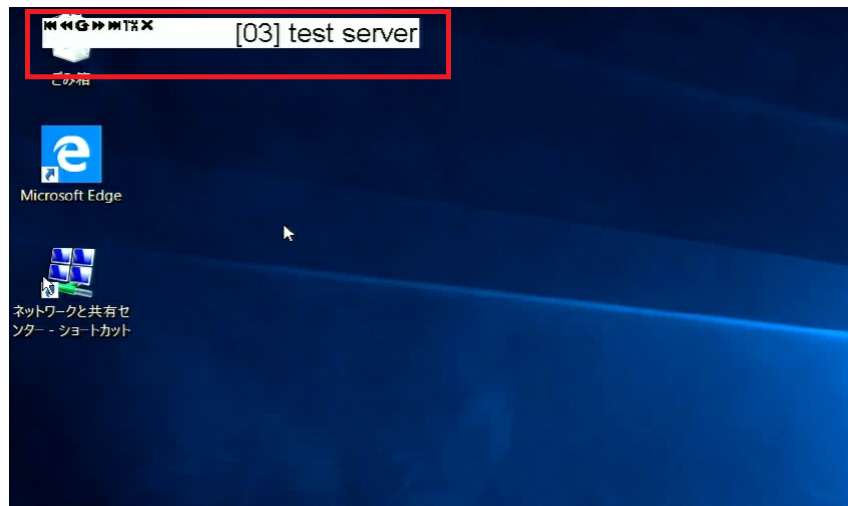
- 任意のサーバーにアクセスして、キーボード入力やマウス入力に異常な挙動が発生しないかをご確認ください

メニュー画面を呼び出す

- KA82xxとKNxxxxVAのメニュー画面をそれぞれ使い分けます

KNxxxxVAのメニュー画面を呼び出す

- キーボードで[Scroll Lock]キーを2回連打すると画面左上に小さくメニューが表示され、切り替えなどができます
- CN8000Aなどは[Scroll Lock]キーを2回連打するとこの小さいメニュー画面は表示されず、下のよう大きいメニュー画面が表示されます

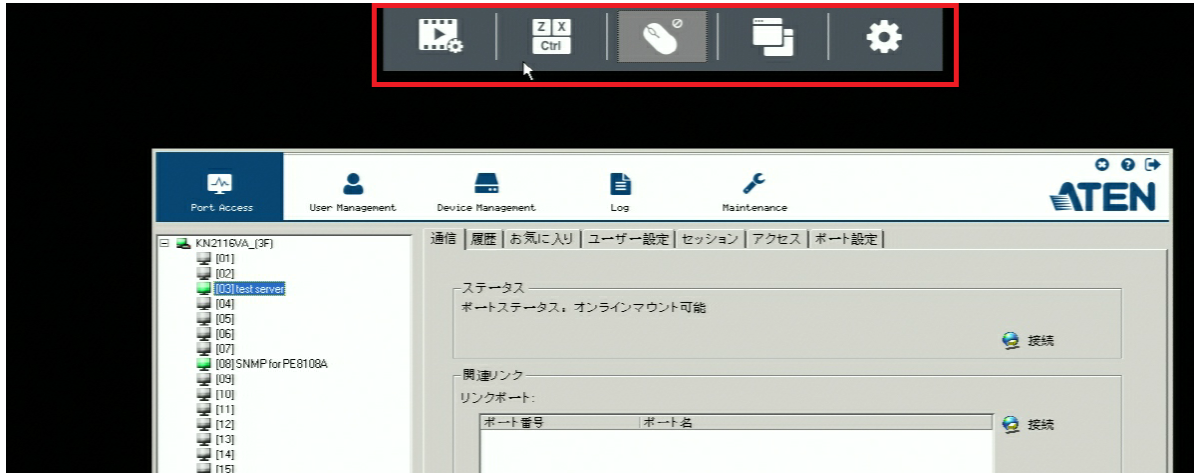


- 呼び出しをキャンセルするには[esc]キーを押してください
- メニューが表示されている時に[Scroll Lock]キーを更に押すとKNxxxxVAのメニュー画面を呼び出せます

- 接続しているサーバーを切り替える場合はKNxxxVAのメニューから切り替えてください

KN82xxのメニュー画面を呼び出す

- マウスカーソルを画面中央上に動かすと自動的に表示されます
- 表示されたメニューの右端にある歯車のアイコンにカーソルを合わせて「GUIを開く」を選択するとKA82xxのメニュー画面に進みます
 - この方法でメニューを開くことで、デバイスビューの画面でを再接続することなく、メニュー画面へ移動できます



ログアウトする

- KA82xxのメニューを呼び出して、歯車のアイコンをクリックします
- 「終了」をクリックするとログアウトします

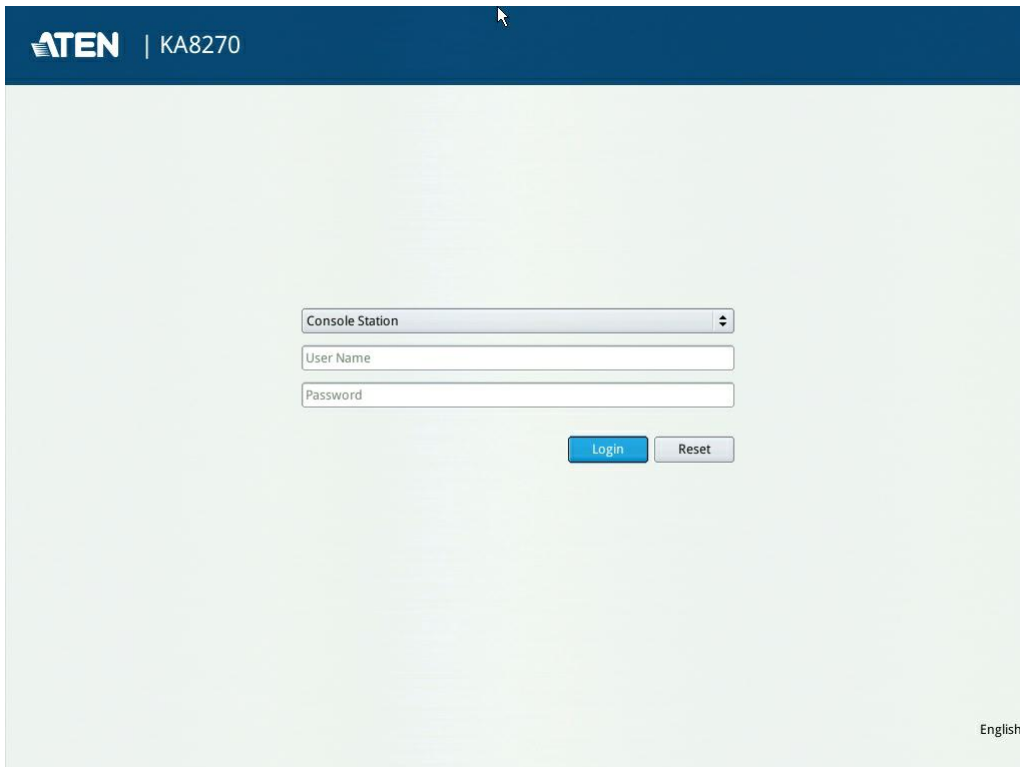


8. KA82xxの便利機能を使って利用する(機能使用)

- 7では、「KA82xxの機能はほぼ利用せず、直接KVMデバイスにログインする」という使い方のご紹介でした
- ここからはKA82xxの使い方の紹介となります
 - KA82xxシリーズのメリットとして、KA82xxのアカウントには、「KVMデバイス1はadmin権限、KVMデバイス2は一般ユーザー権限」といったKVMデバイスごとの権限設定を登録させることで煩雑なデバイスごとのログイン作業を削減することができます。

KA82xxの管理画面にログインする

- KA82xxの起動直後に表示されるログイン画面は以下の意味となります
 - 「Console Station」・・・KA82xxの管理画面にログイン
 - 「KVM over-IP switch」・KA82xxの管理画面を経由しないで、KVMデバイスに直接アクセスする
- Console Stationのログイン初期設定はUser Nameが「administrator」、passwordは「password」となります

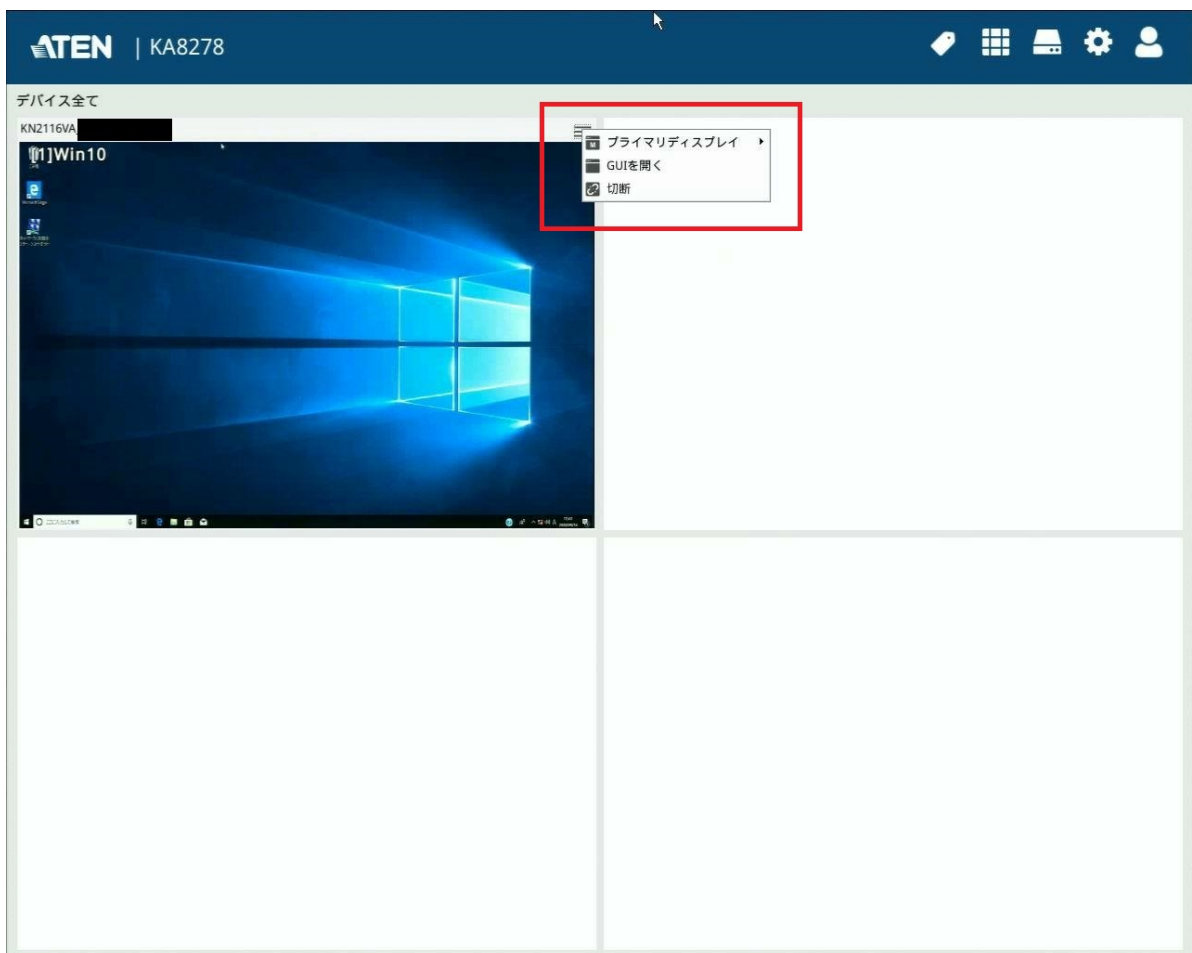


The screenshot displays the login page for the ATEN KA8270. At the top left, the ATEN logo and the model number 'KA8270' are shown. The main content area features a dropdown menu currently set to 'Console Station'. Below this are two text input fields labeled 'User Name' and 'Password'. Underneath the input fields are two buttons: a blue 'Login' button and a grey 'Reset' button. In the bottom right corner of the page, the word 'English' is displayed.

デバイスビューとパネルアレイビュー

デバイスビュー

- ログイン直後のトップ画面で、設定で登録したKVMデバイスの静止画プレビュー画面を閲覧できます
- 登録された製品型番の昇順で1画面内に2x2の画面が表示されます
- 「左上(1台目)→右上(2台目)→左下(3台目)→右下(4台目)→左上(5台目)」というように、5台以上のKVMを接続してもプレビューが更新されます
- デバイスビューは4画面の表示固定です。1画面内の表示数を増やしたい場合はパネルアレイビュー機能をご利用ください(最大8x8=64画面)
- 任意の番号順による並び替えはできません
- 1つのKVMデバイスに接続している複数のPC画面を、1つの画面内を表示させたい場合は、パネルアレイビュー機能をご利用ください
- 区切られた各プレビュー画面内で、オンラインのコンピューターモジュールが自動で切り替え表示します(約3秒ごとにプレビュー映像を更新します)
- 各プレビューウィンドウの右上メニューから「GUIを開く」で各KVMデバイスの管理画面にアクセスできます
 - または「プライマリディスプレイ」にKVMデバイスでオンラインになっているデバイスを選択すると、直接そのPC/サーバーへアクセスできます
 - プレビューで表示されている画面をダブルクリックすると、そのPCに直接アクセスできます



- 新規でタブを作成した、または誤って各KVMデバイスをログアウトしてしまい、KA82xxとKVMデバイス間の通信セッションを切断すると、各プレビューがオフラインになるため表示されません。再度ログイン、プレビュー画面を取得したい場合は、各プレビューウィンドウの右上のメニューから再接続ボタンをクリックすることで、プレビュー画面を取得し直してください(写真)

デバイス全て

KN2116VA

状態:オフライン

再接続

パネルアレイビュー

- 複数のKVMデバイスで表示させたいポートを選択して、カスタムで表示させるプレビュー画面です
- 四角の枠が移動し、移動する時に画面データを更新します
- 最低2x2=4画面、最大8x8=64画面のプレビューを1画面に表示します
 - 以下は8x8の画面表示サンプルです



- 同時表示画面数は2x2、3x3、4x4、5x5、6x6、7x7、8x8から切り替えることができます
- 任意のデバイスを1画面で同時に監視できます
- プレビュー画面をダブルクリックするとそのPCへ直接アクセスできます
 - デバイスビューと異なり、各KVMデバイスの管理画面への直接アクセスはできません

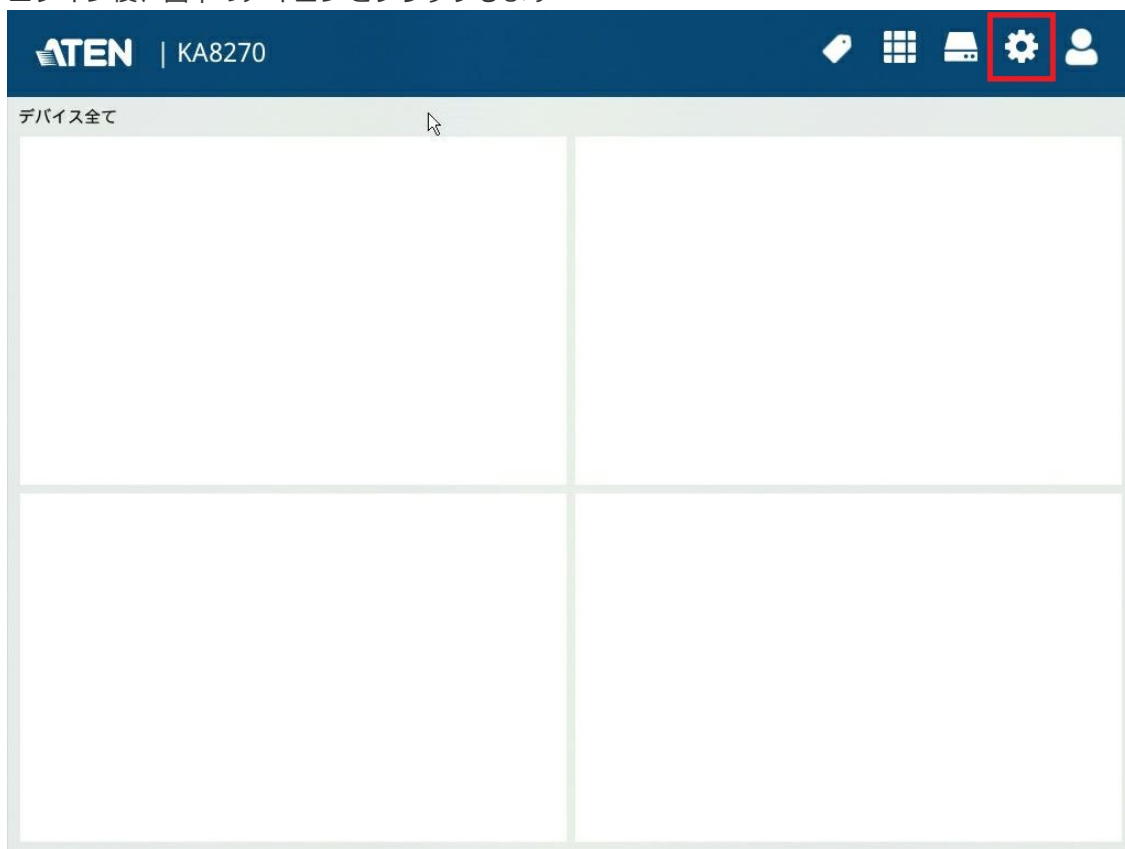
共通すること

- プレビューは静止画キャプチャーの切り替えです
- プレビューをダブルクリックすると直接その操作画面へアクセスできます
- コンピューターモジュールがオフライン(サーバーが電源オフになっている)や映像信号が出力されていない時は「No signal(信号がありません)」と表示されます

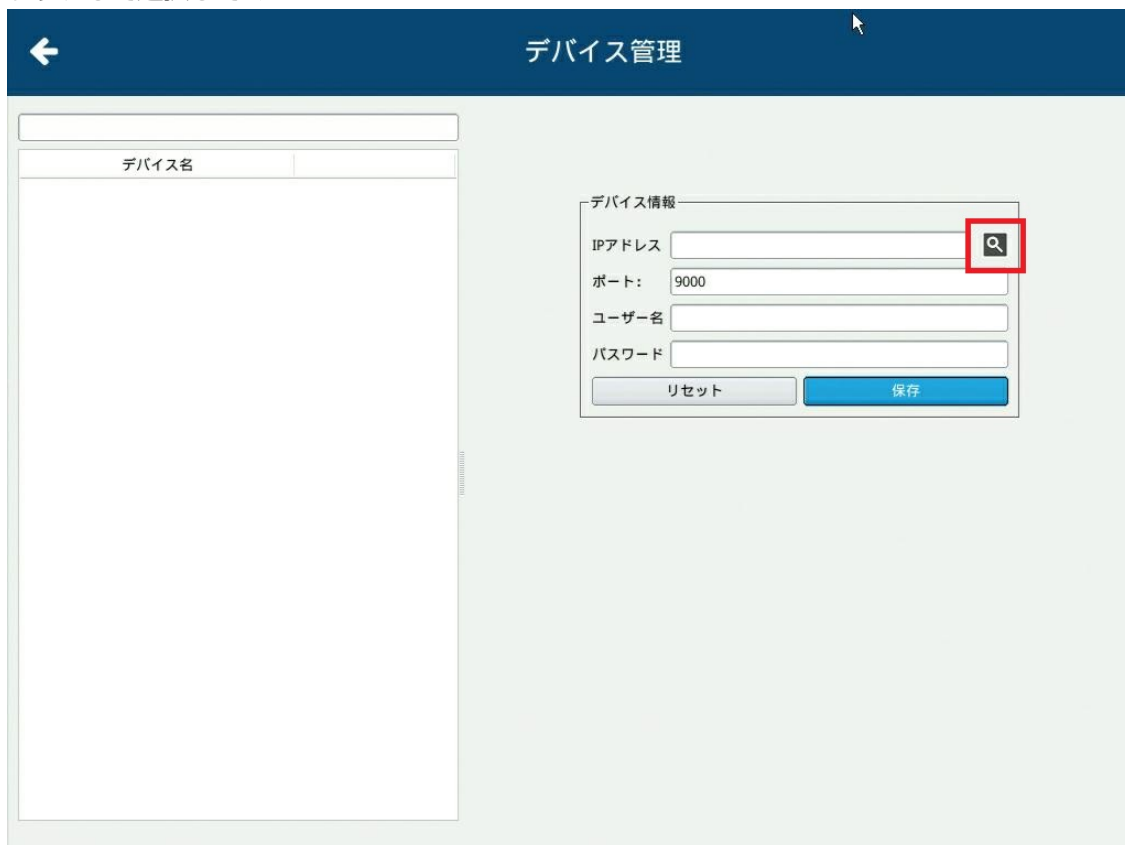
デバイスビュー/パネルアレイビューの登録方法

KA82xxにKVMデバイスを登録する

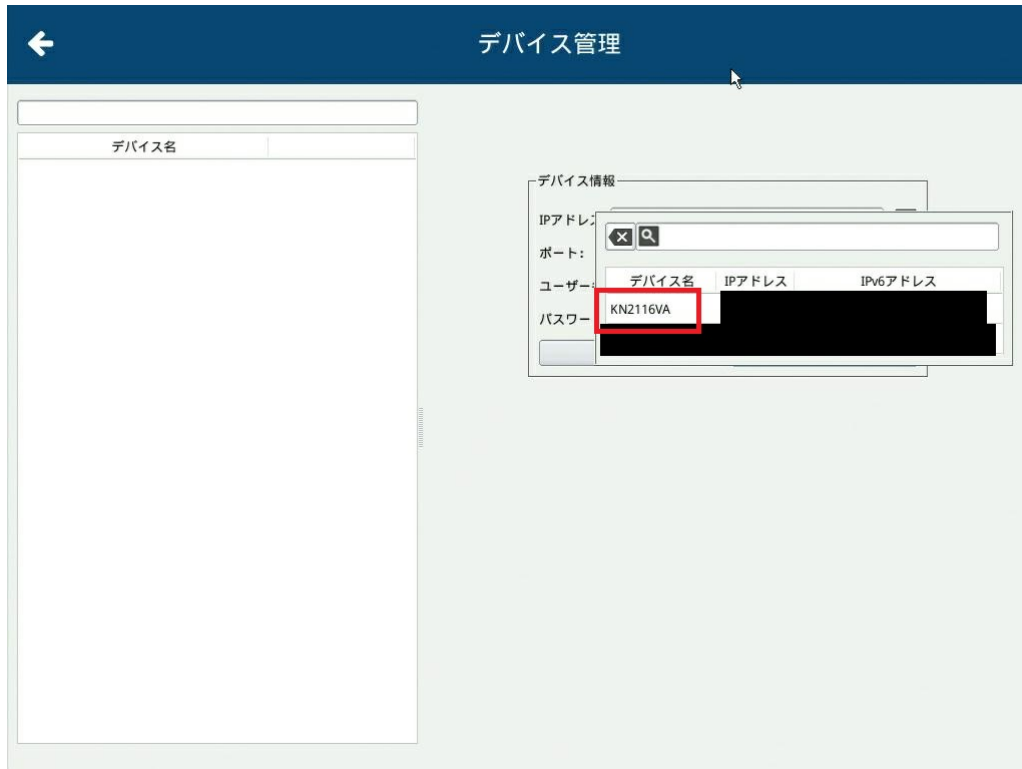
1. ログイン後、歯車のアイコンをクリックします



2. すでにネットワークにKVMデバイスが登録されている場合は虫眼鏡のアイコンからデバイスをクリックして選択してください



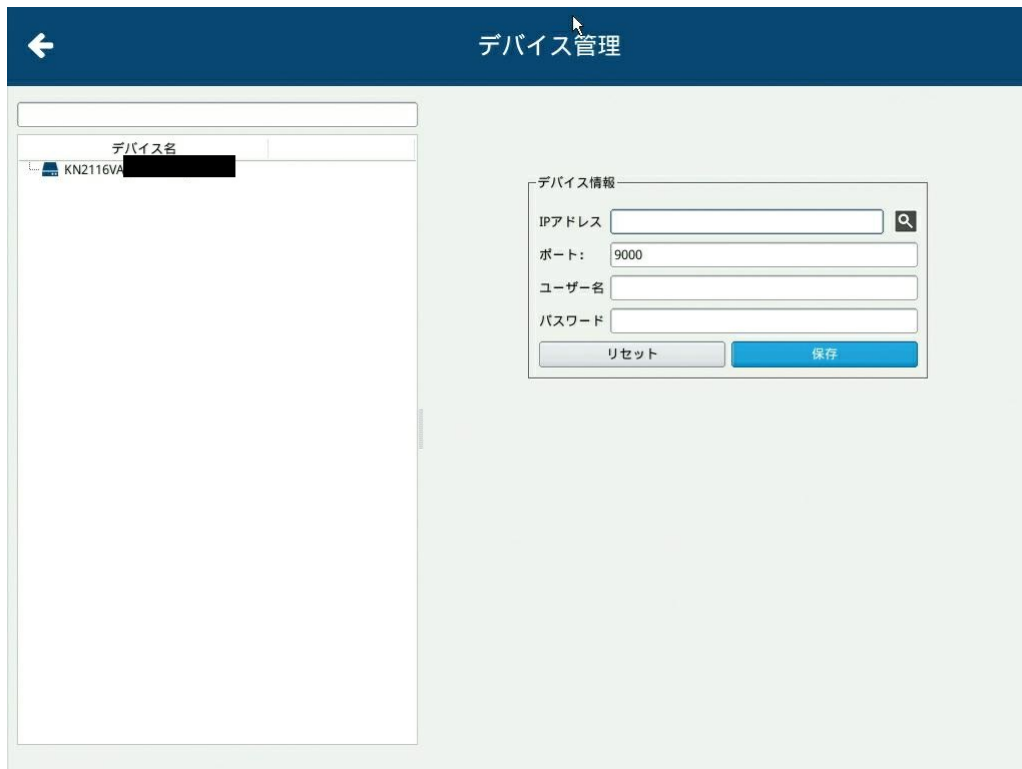
3. すでにKVMデバイスが同じネットワーク内でオンラインになっていると、自動的に検出してリストで表示されます。任意のデバイスを選択してください



4. 選択したらユーザー名、パスワードを入力してください

1. この時、KA82xxのユーザー名、パスワードではなくKVMデバイスのアカウントとパスワードを入力してください

5. デバイスの登録に成功すると、左のペイン表示にてデバイスが表示されます。複数台接続したいデバイスがある場合は、繰り返し登録をしてください



6. 登録が終わったら、画面左上の「←」をクリックすれば前の画面に戻ります

デバイスビューを登録する

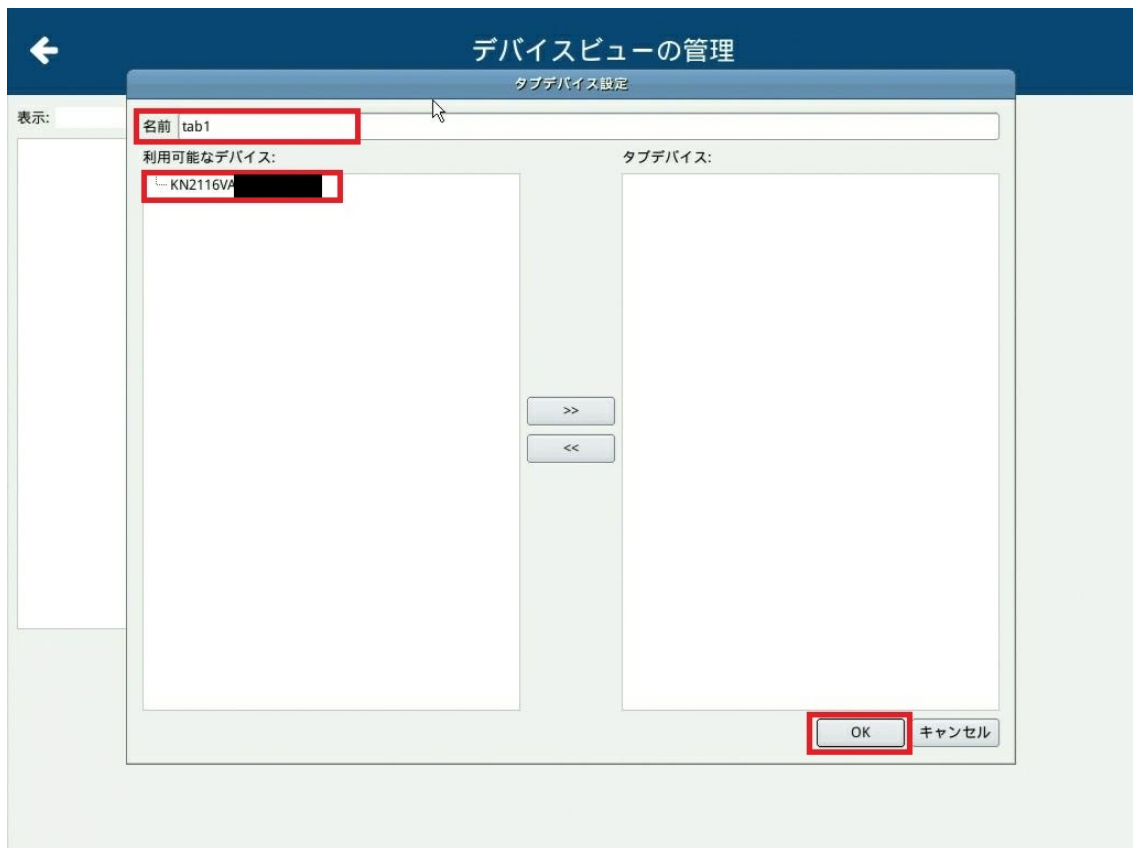
- タグのアイコンをクリックして、「デバイスビューの管理」をクリックします



- 追加の「+」をクリックします



- 「名前」を入力したら、利用可能なデバイスを選択して、「>>」ボタンをクリックしてデバイスを登録します。



- 登録が完了したら、他に作成したいデバイスビューのレイアウトがあれば、繰り返し作成してください。完了したら、「←」をクリックしてトップ画面に戻ってください



- トップ画面から作成したデバイスビューを選択できるようになります。
- 現在指定しているデバイスビューは画面左上にある「表示」にて確認できます。



- もし、初期表示状態に戻したい場合は、アイコンをクリックして「デバイス全て」をクリックしてください

パネルアレイビューを登録する

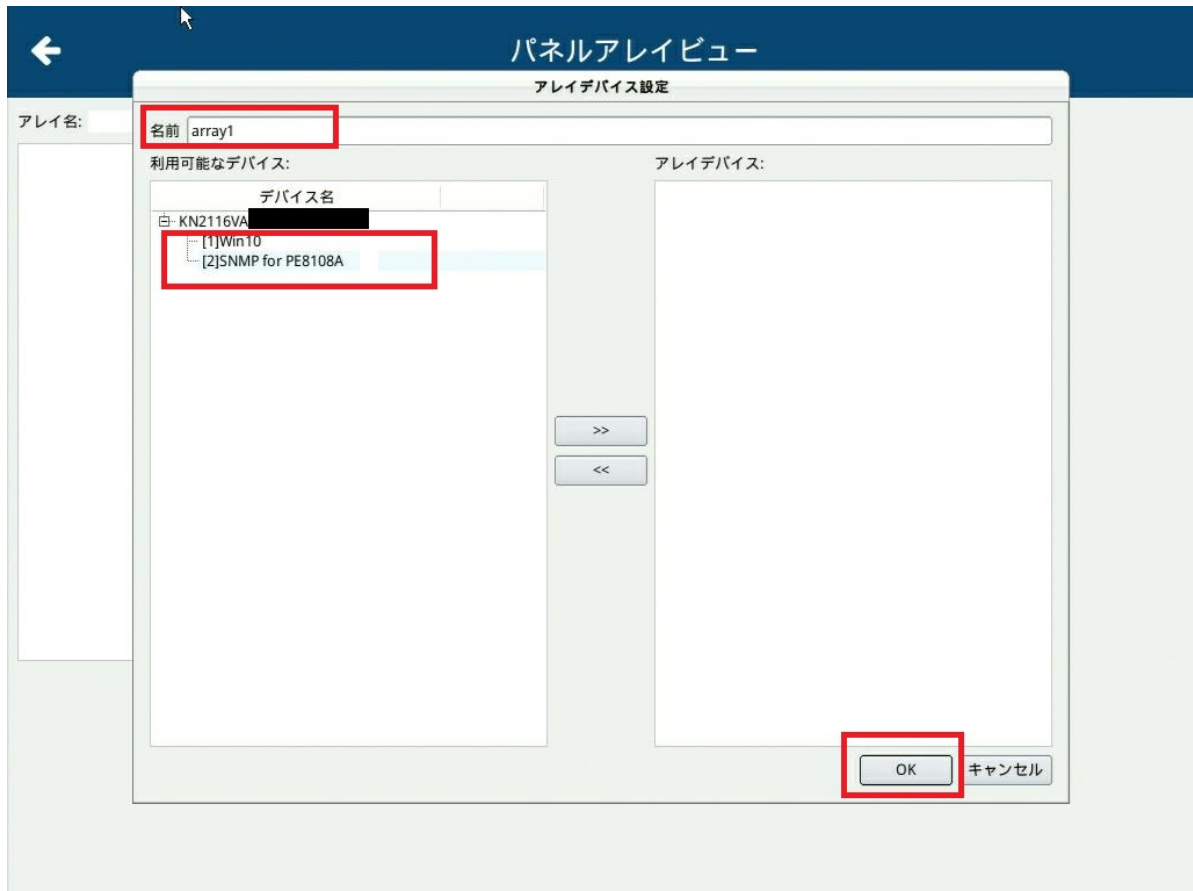
- アイコンをクリックして「パネルアレイレビューの管理」をクリックします



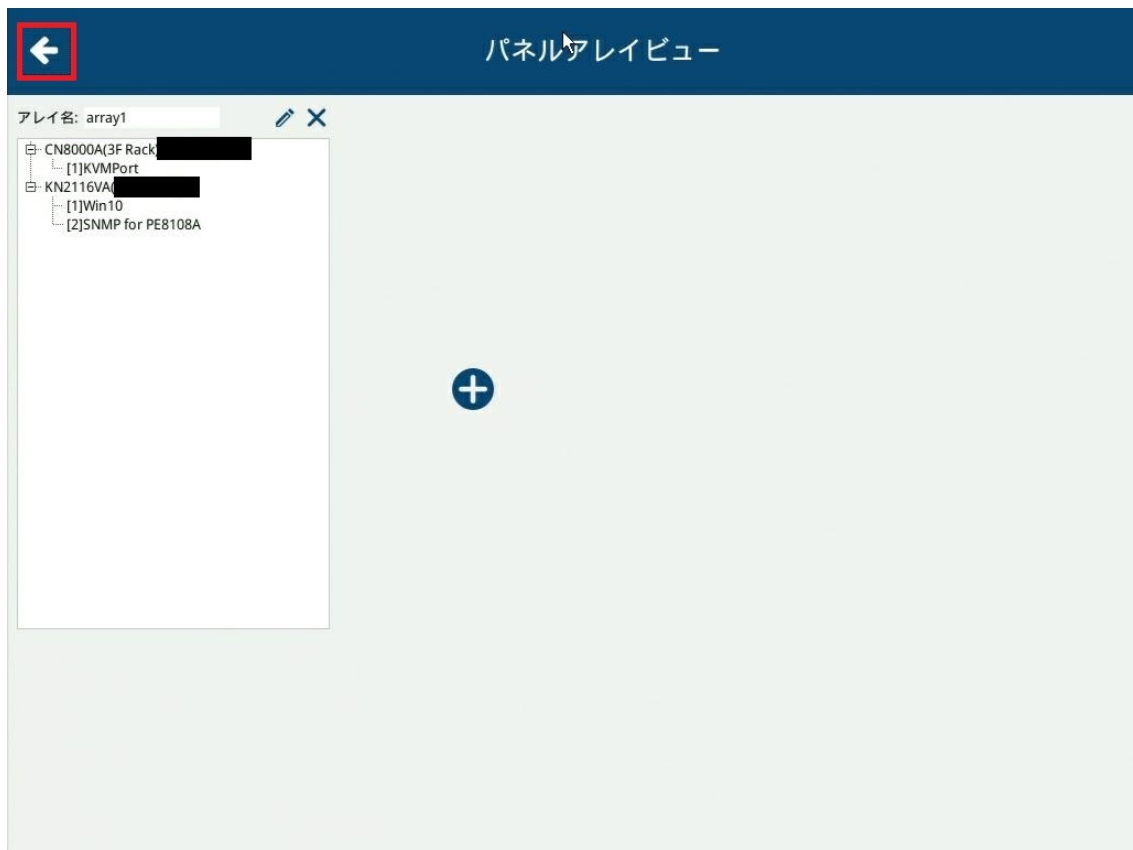
- 追加の「+」をクリックします



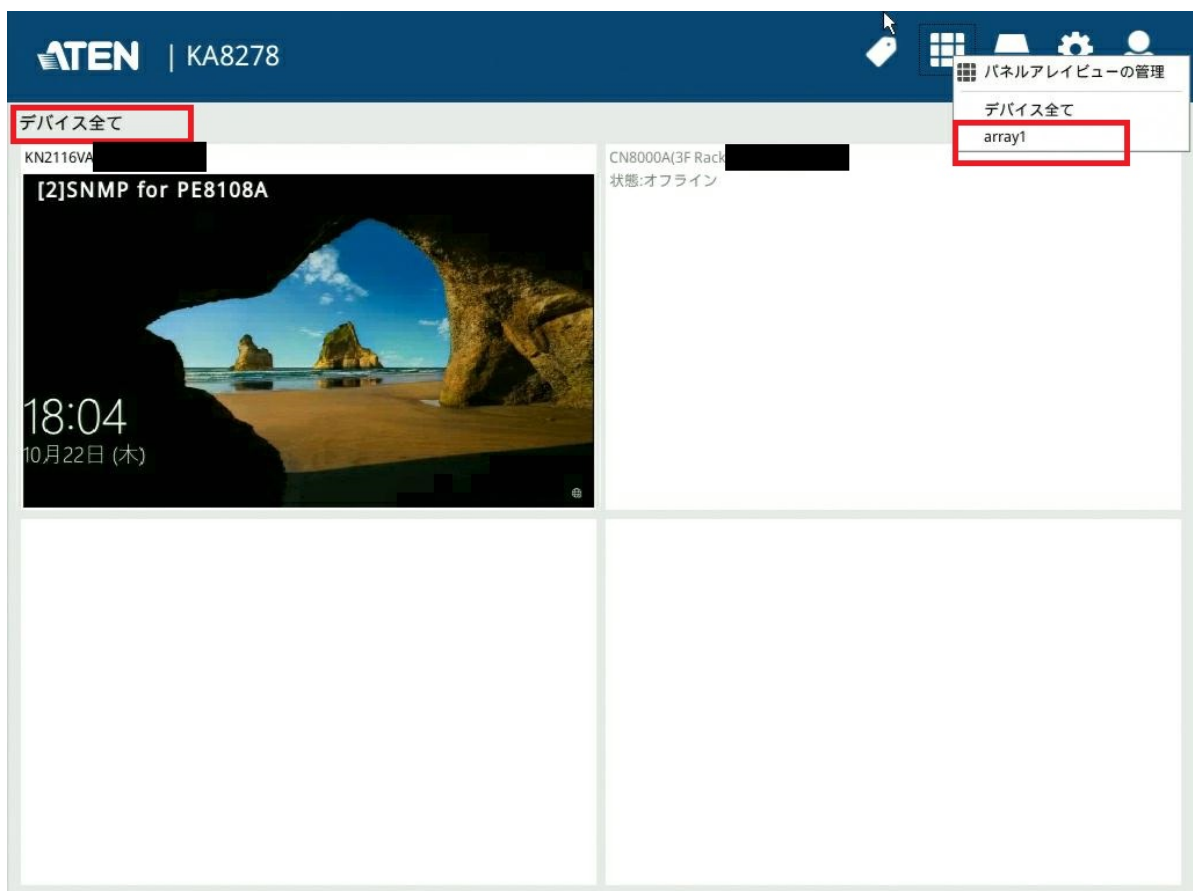
- KVMデバイスと、KVMデバイスに接続しているPC/サーバーが起動しているとそのリストに表示されます
- もし、起動されているにも関わらずリストに表示されていない場合は、KVMデバイスがKAXxが登録されているかご確認ください
- パネルレイビューの「名前」記入します(英数字のみ)
- オンラインのデバイスをクリックして、表示させたいものを選択してください。この時、レイデバイスに登録された順番に表示されます。



- OKボタンを押したら、パネルレイビューが作成されていることを確認してから、戻るアイコンをクリックします



- パネルビューを使用する時はアイコンをクリックし、作成した名前をクリックしてください
- デバイスビューとパネルアレイビューを使用していない、通常の表示は「デバイス全て」と表示されます



- 初期表示状態に戻したい場合は、画面左上にある「←」アイコンをクリックしてください
- 1画面内に表示させたい数を変更したい場合は画面右上にある「+」と「-」をクリックしてください



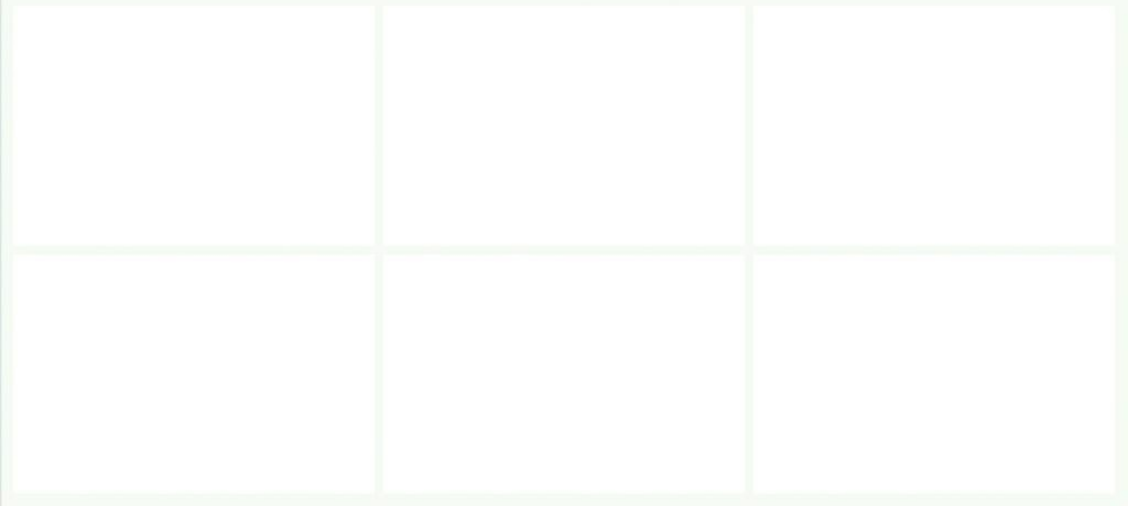
パネルレイビュー



CN8000 [1]KVMPort

KN2116VA [1]Win10

KN2116VA [2]SNMP for PE8108A



おわりに

- 以上で簡易ガイドの説明となります。以下の設定方法などは各製品マニュアルをご参照頂きますようお願い申し上げます。
 - KA82xxにて作成したアカウントの各KVMデバイスの権限設定方法
 - KA82xxで設定したコンフィグのバックアップ/レストア方法
 - KA82xxにて作成したアカウントとLDAP/ADとの連携方法
 - バーチャルメディアのマウント方法

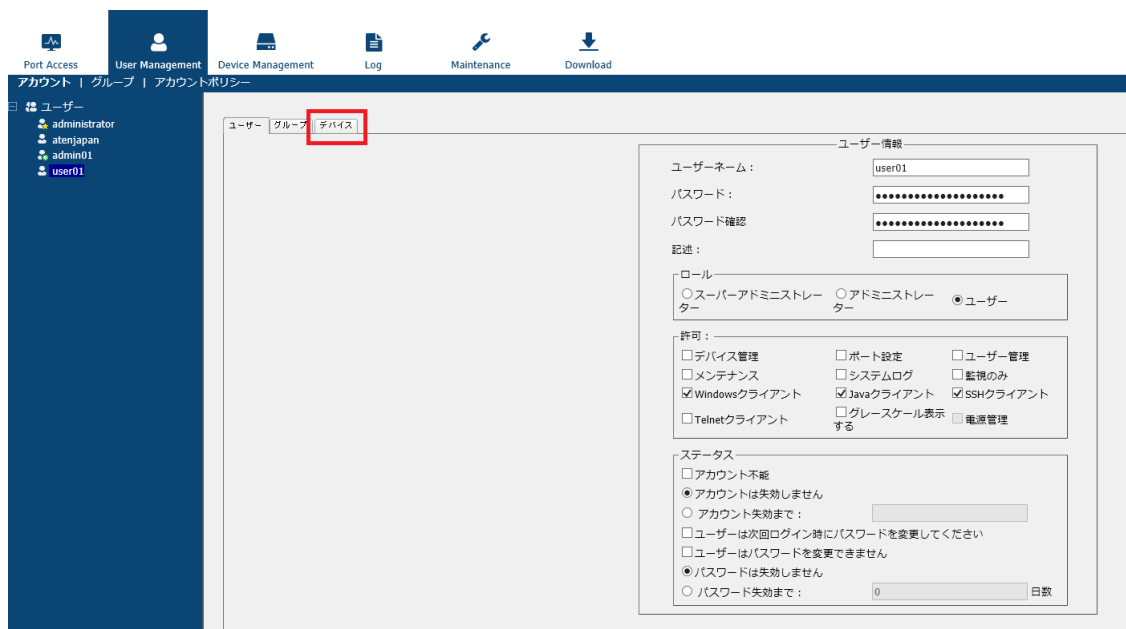
【その他】主に使用される設定や各機能の概念

各アカウントの権限設定について

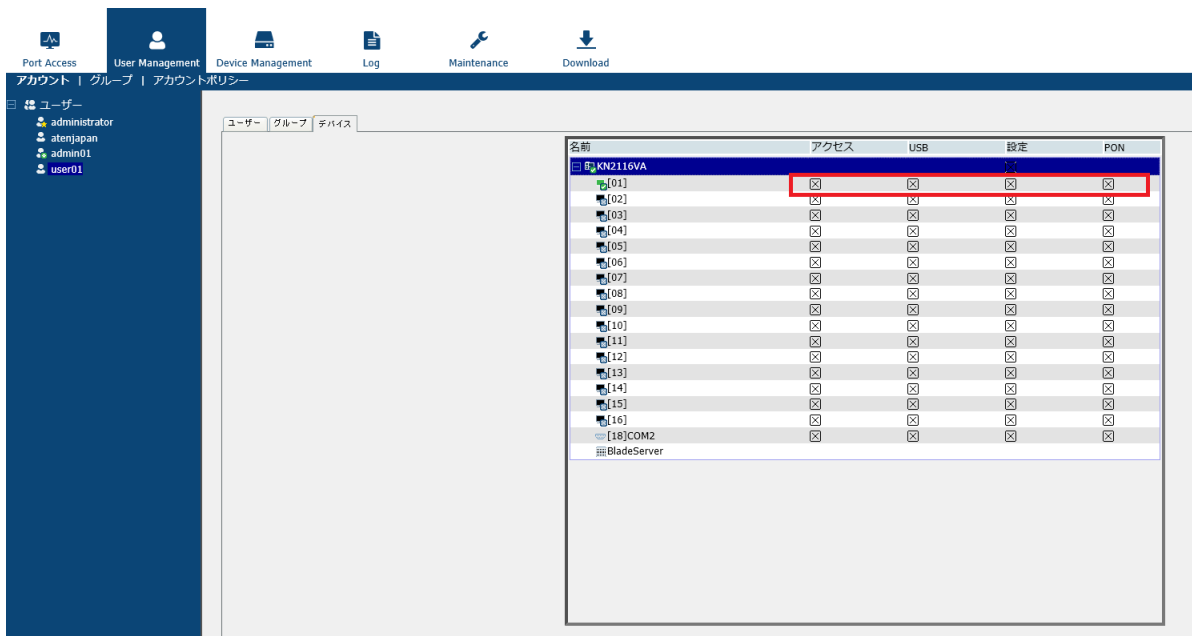
- KNxxxxVAでは、3種類のアカウントの種類があり、基本の機能+設定にて権限許可のカスタマイズができます
 - **スーパーアドミニストレーター:** 全ポートへのアクセス(オフラインのポートの確認も可能)、全機能の設定変更の権限(設定変更による制限不可)
 - **アドミニストレーター:** ユーザー権限をベースに一部設定変更権限が付与
 - **ユーザー:** 許可されたポートへのアクセスとビューワアプリのダウンロード
- 一般ユーザー/アドミニストレーターは権限の特徴から、アクセス許可されていないポートか、サーバーがシャットダウンしているかの判別は出来ないようになっています
- このKNxxxxVAのアカウントKA82xxのアカウントとは異なるため、別々で作成することを推奨します。

一般ユーザー/アドミニストレーターアカウント作成時の注意点

- 一般ユーザー/アドミニストレーターはアカウント作成時には、各ポートに対してのアクセス権限は全く付与されていない状態で作成されます。そのため、以下の「許可」の項目にて機能権限について確認した後に、「デバイス」をクリックしてください



- このアクセス権限の設定は、KNxxxxVAとコンピューターモジュール両方に保存されます。そのため設定を変更する場合はコンピューターモジュールがオンライン(USB接続などで電源が入っている)状態で行ってください
- 下図では、ポート1だけがオンラインになっているので、ポート1だけの設定ができます



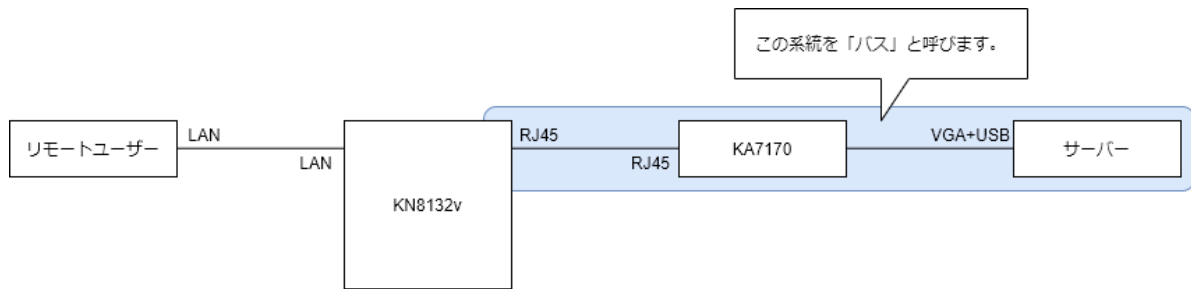
- 各ポートに対しては、以下のような権限設定が可能です

- **アクセス:** 「画面表示+キーボードマウス操作」、「画面表示のみ」、「権限なし」
 - **USB:** バーチャルメディア使用時の設定。「読み書き機可能」「readのみ」「権限なし」
 - 「read」のみはマウントしたメディアがread onlyとなり、コンピューターモジュールに接続しているサーバーから、バーチャルメディアにデータを書き込めない、という意味になります
 - **設定:** 「Port Access>ポート設定」へのアクセス権限。コンピューターモジュールの [同時アクセス権限](#) の設定などが可能
 - **PON:** (2020年現在、日本市場向けでは使用されていないレガシー機能で、設定不要です)

- 設定が完了したら、画面右下の「保存」ボタンを押してください

「バス」の概念

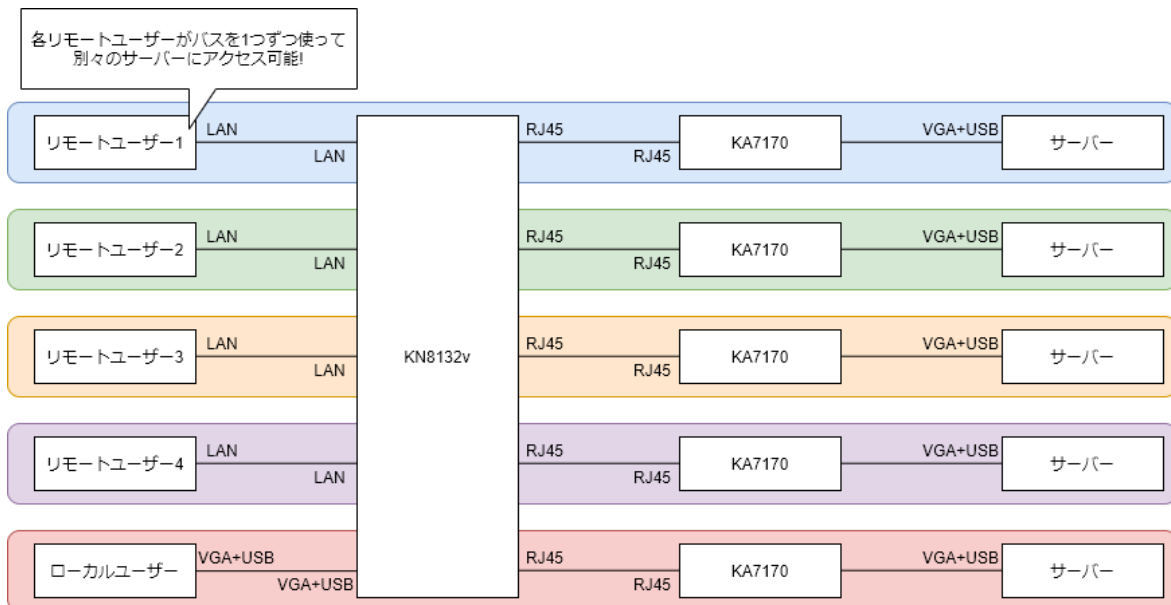
- KNxxxxVAシリーズなどの製品では、「バス」とは「サーバーへアクセスする経路」を指します



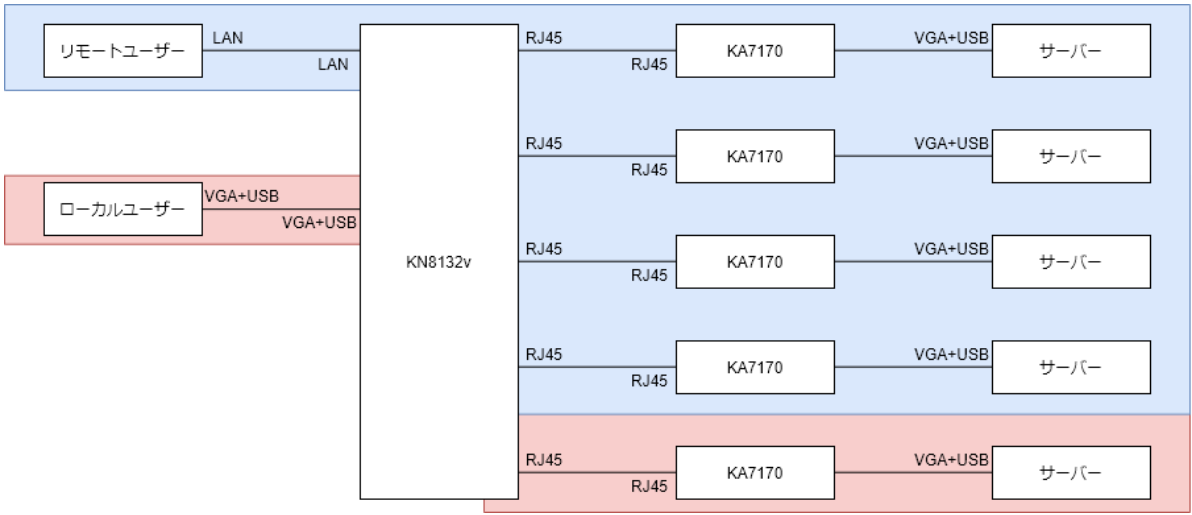
- KNシリーズは製品型番の「千の位」がリモートユーザーが同時にアクセスできるバスの数を意味しています。KNxxxxVAは、最大で同時に32人のリモートアクセスに対応しており、各製品によって同時にアクセスできるバス数が以下のように異なります

- KN8132v: ローカルコンソール:1バス、 リモートユーザー:8バス
- KN4132v: ローカルコンソール:1バス、 リモートユーザー:4バス
- KN2132v: ローカルコンソール:1バス、 リモートユーザー:2バス
- KN1132v: ローカルコンソール:1バス、 リモートユーザー:1バス
 - KH1508AiやCS1708iなどのエントリーモデルは、ローカル/リモート合計で1バス使用可能です(KA82xxは非対応機種となります)
- (参考)CN8000A / CN9600 : ローカルコンソールとリモートユーザーは1バスを共有します

- このため、以下のような使い方ができます



- 更に、リモートユーザーは複数のバスを使用する事が可能です。以下のように、「リモートユーザーが4バス分使用して複数台のサーバーを同時に監視。ローカルユーザーは1バス分使用して別のサーバーを監視」という方法も可能です



FAQ

- 以下の記事以外にも、弊社技術サポートサイト「eSupport」では随時FAQを公開しているため、併せてご参照ください
- 検索ワードには問題に関する単語の他にも、型番入力での検索にも対応しています

https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP

ログイン画面を無効にしたい

- 仕様上、ネットワークセキュリティの脆弱性の原因となるため無効化できないように設計されています。

自動的にログアウトさせたくない

- 一定時間、キーボードやマウスを操作をしない場合、自動的にログアウトする機能が初期状態で「KA82xx」と「KVMデバイス」の両方で有効になっています。
- 長時間の監視用などで使用する場合は、両方の設定を行ってください
 - 片方のみ設定を行わない場合は、いずれかの自動ログオフ機能が動作します
- 下記2つのデバイスを設定した直後は反映は行わず、3分程度経過してから反映を行います。これは複数デバイスが常時アクセスする/される事を想定した設計をしているため、実際の反映までに遅延時間を設けています。この設定反映をする場合は、本体の再起動を行うことで即時設定反映ができます。

KA82xx側の設定

- KA82xxにログイン後、画面右上端にあるアイコンから「ユーザー設定」を開く
- 「ログアウト タイムアウト」の項目を0分に変更して保存ボタンを押す

The screenshot shows the 'ユーザー設定' (User Settings) interface. At the top, there is a blue header with the text 'ユーザー設定'. Below it, a large black box contains a white icon and the text 'ユーザー設定'. Underneath, there are two settings: '言語:' (Language) with a dropdown menu showing '日本語' (Japanese), and 'ログアウト タイムアウト:' (Logout Timeout) with a text input field containing '0' and a '分' (minutes) unit. The 'ログアウト タイムアウト' field is highlighted with a red rectangular border. At the bottom right, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

KVMデバイス側の設定

- KVMデバイスにログイン後、「Port Access > ユーザー設定」の項目を開く
- 「ログアウト タイムアウト」の項目を0分に変更して保存ボタンを押す



- 設定後、KA82xxとKVMデバイスそれぞれ再起動を行ってください。KA82xxとKVMデバイスはネットワーク機器で、複数ユーザーが使用することから設定してから反映するまでに3分程度の猶予を設けています。即時反映する場合は、設定を保存した後に再起動を行ってください。

対応するOSを知りたい

- KNxxxxVAシリーズが対応しているサーバーOSは製品マニュアルに記載がございますため、そちらをご確認ください。マニュアルでは基本的にOSに起因する問題が無いということで掲載をしています
- 対応OSなどについては、OSに組み込まれているドライバーのみで動作することを確認しています
- OSの動作は確認していても、実際に利用するサーバーのUSBチップセットドライバーなどによって組み合わせ上の相性問題が発生するおそれがございます。以下の方法にて改善されるかお試しください
 - サーバー側のUSBチップセットドライバーを最新バージョン、または過去バージョンに変更する

ログインできない

- 初期設定でusernameは「administrator」 passwordは「password」と登録されています
- また、2020年1月からアメリカ合衆国カリフォルニア州にて施行されたIoTセキュリティ法に準拠するため、工場出荷設定の状態から初回ログイン時にデフォルトパスワードの変更が必要になるよう、仕様変更をしています
- KN82xxのパスワードを紛失した場合は、ユーザーによる復旧はできません。弊社RMA(修理サービス)によるアカウントデータ初期化による復旧であれば対応が可能です
- KNxxxxVAのスーパーアドミニストレーターのパスワードを忘れてしまった場合は、本体設定を初期化することで復旧が可能です。詳細の手順は製品マニュアルの「Clear Login Information」をご参照ください。この作業をする際にジャンパーピン(PCで広く利用されているサイズである、ピッチ2.54mm)が1つ必要となります
 - この初期化を行う時は必ずKNxxxxVAの設定バックアップを作成してから、実施してください。初期化後、バックアップしたデータをレストアする時にアカウント情報以外を復旧させることで設定を保持したまま、アカウント設定のみを初期化させることができます。またレストアはリモートアクセスから実施できます

- KA82xxとKNxxxxVAシリーズ、各デバイスのIPアドレスが重複していないかご確認ください。特に弊社製品の初期設定はDHCP機能が有効になっており、起動完了してから60秒以内にDHCPサーバーからIPアドレスが取得できないと「192.168.0.60」となります。ログインボタンを押してもメニューに進まないなどの不具合がある場合は、これらのIPアドレスの設定やDNS、ARPテーブルの未更新などが原因で機器の衝突が解消できていないために、発生する事がございます。

モニターの解像度を変更できない

- 既知の問題として、Debian5.0系のOSはプログラム上、モニターの解像度情報を再取得が出来ないことを確認しています(xrandrコマンドの初期バージョンではEDIDの再取得が出来ず、初回OSインストール時に使用したEDIDを固定するため)。この問題からサーバー構築時のモニターと異なるモニターを接続した場合に画面が正しく表示できない、解像度変更が出来ないといった問題を確認しています
- サポート外の参考情報となりますが、同様にWindowsVistaSP1以前のWindowsOSでも、EDIDの概念が実装されていない製品となるため、現行のハードウェアやKVMと組み合わせた時に解像度変更、表示位置が合わないなどのケースがあることを確認しております
- この場合の対策は、サーバーセットアップ時に使用したモニターをそのまま利用する、コマンドプログラムの更新などを行って再取得ができるような環境構築をされることを推奨します

再起動を繰り返すようになってしまった

- 環境にもよりますが、3年以上使用して以下の方が該当している場合、ACアダプターの経年劣化によって安定起動できなくなっているおそれがあります。この場合はACアダプターを交換することで、改善することがございます。しかしACアダプターの交換でも改善されない場合は本体修理をご検討いただきますようお願い申し上げます
 - 再起動を繰り返す
 - この間にモニター画面に何も表示されない
 - 電源ONのあいだ、本体から「ビーツ」と繰り返しビープ音が鳴り続ける

既知の問題・HPE製Gen10サーバーで画面が表示できない

- HPE製Gen10サーバーなどで、過去のバージョンによって画面が表示されない問題が確認されています。問題の詳細については、下記URLをご参照ください

<https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/view.do?id=6601>

- この問題については、既にHPE製サーバーのsystem ROM/iLO Firmwareをv1.40以降へアップグレードし、「VGA Port detect Override」の項目を有効にすることで解決が確認されています
- サーバーのアップグレードが出来ない状況の場合は、弊社別売のGen10サーバーの表示問題に対して弊社から販売している専用変換アダプタである「2A-140G」を取り付けることで解決を図ってください
 - このオプション製品については恐れ入りますが製品ページの無いものとなります。詳細については弊社営業までお気軽にお問い合わせください
 - 【営業代表電話: 03-5615-5810】

KVMデバイスのVGA出力とDVI-D出力を同時に使用できるか？

- KN2116VAなどはVGAとDVI-Dのコネクタが有りますが、同時に使用できません
- 1台のモニターのみをKNxxxxVAに接続してください。またモニターは出来る限り変換ケーブルやコンバーターなどを接続せずにVGAモニターまたはDVIモニターに接続してください。映像が映らないなどの問題の原因となることがあります

ポート名を日本語で入力できない

- KA82xxは日本語入力メソッドがないため、KN2116VAなどのKVM製品に対して入力が出来ません
- 日本語登録の詳細手順は、次のFAQの記事に添付されているセットアップガイドをご参照ください
- [「KN8132vのセットアップのポイントを知りたい\(KNxxxxVAシリーズ\)」](#)

画面上にKA82xxのシリアル番号を確認する方法はあるか？

- 確認方法はありません。本体底面の添付されているシールのバーコード下に記載されている英数字のみが本体の保証期間を確認するためのシリアル番号となります
- 設定画面にある#MFGと記載されている番号は弊社工場内の管理上の製造時に使用される番号となります。この番号では保証期間の確認にはご利用いただけません

起動させたら自動的に任意のサーバーへリモートログインさせたい

- 非対応となります
- セキュリティ脆弱性の原因となるため、製品として搭載を行っておりません

ログイン画面の「直接KVMデバイスへのリモートログイン」を無効化させたい

- 非対応となります

画像が圧縮されている。画質を向上させたい

- KNシリーズなどは製品の経緯として画質よりも圧縮率のバランスを優先させた製品となるため、画質や追従性を重要とする場合は弊社製KEシリーズのご導入をご検討ください

- KNシリーズなどは製品開発の背景として、一般のネットワーク回線のような限られた回線帯域でも利用できるよう、画像圧縮率を高めることで操作追従性を高めた製品となります
- 一方KEシリーズは外部と断絶した専用のLAN回線を構築して頂くことでデータ帯域を大量に使用し、画質と追従性を高めた製品となります。一般回線で使用するとデータ帯域の制限によって安定した動作は出来ないため、遠隔拠点の通信でご利用するには1Gbps以上の帯域保証型のネットワーク回線を準備が必要になります。

メンテナンスでファームウェアアップグレードをするが、その仕方は?

- 当ガイドの初期セットアップが完了して利用し、ファームウェアをアップグレードする場合の流れについて紹介します
- KA82xxからはKVMデバイスのファームウェアアップグレードが可能になっております
 - KA82xxにファームウェアアップグレード用プログラムを入れたUSBメモリを接続してください
 - KVMデバイスのアップグレード方法の詳細は製品マニュアルまたは「[KN8132vのセットアップのポイントを知りたい\(KNxxxxVAシリーズ\)](#)」の添付ファイルをご確認ください
- アップグレードする順番は必ず、
 1. KVMデバイス
 2. KA82xxの順番で実施してください

マウスカーソルが一致しない

(おことわり)仕様について

- モニターやビデオカードの設定などの組み合わせから完全にカーソルが一致せず、数ドットの位置ずれが発生することがございますが、仕様内の挙動となります。

モニターのEDIDをKVMデバイス、PC/サーバーへ同期させる

- マウスカーソルが一致しない場合の主な原因は、モニターのEDIDをKVMデバイス、PC/サーバーすべてで同期していないのが主な理由として確認されています。KA82xxのマウスカーソルの位置検出機能は、画面解像度とEDIDをベースに算出して動作します。PCの映像出力がモニターに対応する解像度、リフレッシュレートで出力していない場合、カーソルがずれる原因となります。

サーバーに正しい映像信号を出力させる

- サーバーは以下のケースでEDIDを取得し、映像表示を行います
 - 起動中にVGAケーブルを挿抜する
 - OS再起動(多くの場合、OSの起動時のみにEDIDを取得します)
- まずは、各製品マニュアルやセットアップガイドを参考に起動順番を「1.モニター 2.KVMデバイス 3.サーバー」の順番で起動を行ってください
 - KVMデバイスとコンピューターモジュールにEDIDを取得させてから、サーバーの再起動を行ってください

- ワークステーションでビデオカードを増設している場合は、スケーリング表示設定を使用した場合は「1920x1200と設定しているか、実際は1280x1024で表示する」などの正しく認識できない原因となります。スケーリング表示を無効化するか、スケーリング表示と実際の出力解像度を一致させてください。

回避できない事例

- VGA映像はアナログ信号という特性から、EDIDが正しく認識されても、黒色の映像信号と無信号と判別できないためにずれるケースがございます。この場合は、黒色以外の背景などを用意して映像出力範囲を明確にすることで回避を試みてください。

USB延長器などは使用していれば取り外す

- KVMデバイスにKVMエクステンダーを初めとしたUSBコンバーター/USBエクステンダーなどを接続して利用している場合は、カーソル位置が一致なくなる原因となります。KVMデバイスとPC、ローカルコンソールだけを接続した状態でリモートからアクセスしてカーソルの位置が合うかご確認ください。

マウスの自動同期で改善しない場合は以下の方法で改善させる

- KA82xxなどの本体設定変更や登録したデバイス設定の変更を行った場合、一時的に一致できないケースがまれにございます。その場合は、以下の再起動をして改善されるかお試しください
 - KA82xxの再起動
 - KVMデバイスの再起動

デュアルモニターで利用できない

- 「1PCの2画面出力に、KA8278やKA8288などからアクセスしたい」という方法は非対応の機能となります。
- KA8278またはKA8288は、2画面の出力はできますが「1台のPC画面をそれぞれ2つ選択して使用」または「片方の画面はパネルアレイ表示+もうひとつは1台の画面で操作」という利用方法に対応しています。
- カスケード接続で利用した場合も同様で2画面出力のPCやサーバーなどをご利用いただけません。

増設時の注意点を確認したい

- KA82xxを増設する場合は、現在稼働しているKA82xxと増設するものが同じバージョンかご確認ください
- 同じバージョンではあれば、増設するKA82xxにIPアドレスなど各設定していただければ、すぐにご利用いただけます
- もし増設するKA82xxが稼働中のものより新しい場合は、KVMデバイス本体のアップグレードが必須となります。この場合は、KVMデバイス本体のマニュアルまたは各セットアップガイドを参照の上、「KVMデバイス」「コンピューターモジュール(対象機)」「KA82xx」すべてのデバイスを最新バージョンにアップグレードをしてからご利用ください